

令和7年刊行

消 防 年 報



鶴岡市消防本部

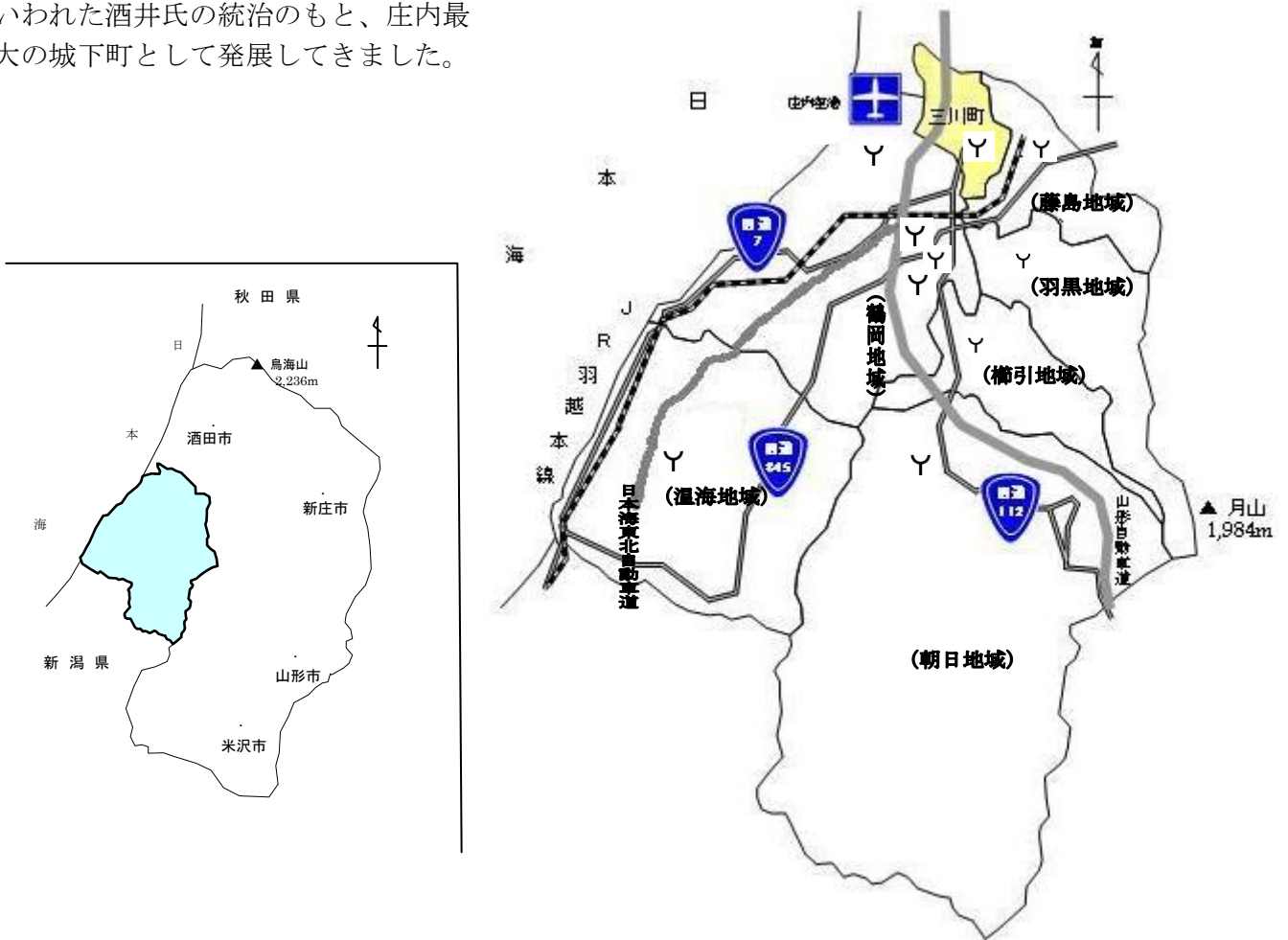
ま え が き

- 1 この消防年報は、鶴岡市消防本部の消防現勢及び令和6年中における活動概要等を収録したものです。
消防業務の実態を広く紹介し、ご理解とご支援をいただき、今後の消防行政の運営と消防力の充実に資するものであります。
- 2 火災・救急・救助及び通信統計については暦年、また予防統計・予算等に関するものについては、年度により作成しております。

— 管内の位置 —

当消防本部は、米どころ山形県庄内平野の南部に位置し、東に霊峰月山・羽黒山・湯殿山などの美しい山々が連なり、西は岩礁と長い砂丘で日本海に面し、南は新潟県村上市、北は港都酒田市と接しています。

鶴岡市は大自然に囲まれながら災害は少なく、管内総面積（消防事務を受託している三川町含む）は1,344.7k㎡で、江戸時代は徳川四天王といわれた酒井氏の統治のもと、庄内最大の城下町として発展してきました。



目 次

ま え が き

令和 7 年度 鶴岡市消防本部事業概要

1 消防本部の使命	1
2 消防本部の目標と運営方針	1
(1) 目標	1
(2) 運営方針	2
3 重点取組項目	2
(1) 総務関係	2
(2) 予防関係	3
(3) 警防関係	5
(4) 消防署関係	6
(5) 通信指令関係	7

管 内 情 勢 編

沿革	9
消防庁舎の現況	15
管内情勢	16
月別気象情報	16
協定書及び覚書締結状況	17

総 務 編

組 織	18
歴代消防長・消防次長・消防署長	19
1 歴代消防長	19
2 歴代消防次長	19
3 歴代消防署長	19
令和 7 年度 当初予算	20
1 年度当初予算の比較	20
2 過去 5 年間の歳出決算額（一般会計との比較）	20
職員採用状況	21
令和 7 年度 消防学校等入校計画	22
1 山形県消防学校	22
2 救急救命士養成	22
3 消防大学校	22
消防職員配置状況	23
年齢別消防職員数	23

在職年数別消防職員数	24
消防職員数の推移	24
各種免許・特殊技能等資格取得状況	25
音楽隊編成表	25

予 防 編

防火活動状況	26
1 防火研修会及び消防訓練実施状況	26
2 幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ組織状況	27
防火管理	28
防火管理者を定めなければならない防火対象物及び選任対象物	28
査 察	29
1 査察対象事業所等状況	29
2 防火対象物定期点検報告制度対象物数	30
3 防災管理点検報告制度対象物数	30
4 防火対象物の現況と査察実施状況	31
5 建築確認同意事務処理状況	32
危険物規制	33
1 危険物施設現況数	33
2 危険物施設の許認可等状況	33
3 年度別危険物施設数	34
4 危険物施設立入検査実施状況	34
火災統計	35
1 火災の概況	35
2 市町及び地域別火災発生状況	36
3 月別火災発生状況	38
4 原因別出火件数	40
5 時間帯別出火件数	40
6 曜日別出火件数	40
7 初期消火器具等の使用状況	40
8 建物火災の用途別発生状況	41
9 住宅火災の出火箇所別発生状況	42
10 住宅火災の原因別発生状況	42
11 住宅火災の曜日別発生状況	43
12 住宅火災における初期消火器具等の使用状況	43
13 総出火件数等	44
14 住宅火災の推移	44

警 防 編

主な消防機器の現況	45
消防車両等配備状況	46
通信指令業務	48
1 通信系統図	48
2 高機能消防指令センター システム図	49
119番受信状況	50
1 月別受信状況	50
2 曜日別受信状況	50
一般加入電話受信状況	51
1 月別受信状況	51
2 曜日別受信状況	51
消防水利の現況	52
中高層建築物の現況	53
1 市町及び地域別状況	53
2 用途別状況	53
救急統計	54
1 救急活動状況	54
2 月別事故種別出動件数と搬送人員	56
3 医療機関別搬送人員の状況	56
4 事故種別出動状況	56
5 年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況	57
6 曜日別時間帯別搬送人員状況	57
7 現場到着所要時間状況(入電～現場到着まで)	58
8 収容所要時間状況(入電～医療機関まで)	58
9 住所別搬送人員状況	58
10 救急隊員の行った応急処置の状況	59
11 過去5ヶ年の事故種別出動・搬送人員の状況	60
12 職員が行った応急手当普及啓発活動の状況	61
救助統計	62
1 市町別救助件数・救助人員	62
2 出動隊別事故種別出動状況及び救助人員	63
3 発生場所別事故種別救助人員	63

消 防 団 編

消防団の構成	64
消防団長・副団長名	64
階級別消防団員数	65
在職年数別消防団員数	65
年齢別消防団員数	66

消防団機械等現勢.....	66
階級別消防団員報酬.....	67
出動手当額.....	67

消防救助技術大会出場記録.....	68
-------------------	----

令和7年度 鶴岡市消防本部事業概要

1 消防本部の使命

『安全・安心を誇れる街 鶴岡を目指して』

消防本部（1本部1署9分署、定数207名の職員）は、火災、救急、救助をはじめ、あらゆる災害時における市民の緊急事態に、消防ポンプ自動車、救急自動車等の消防施設及び人員を活用し、日ごろの訓練で培った技術、経験を最大限に発揮するとともに、地域防災力の要である鶴岡市消防団等との連携強化を図りながら、地域と住民の安全・安心を確保します。

2 消防本部の目標と運営方針

目 標

市民生活の安全・安心を確保することは、まちづくりの基本であるという認識のもとに消防・救急体制の充実・強化を図り、次の目標を掲げて「安全・安心を誇れる街鶴岡」を創造します。

（1）災害の低減

市民の生命、身体、財産を災害から守るために、各種施策を展開することはもとより、市民とより強固な信頼関係を築き、役割分担を明確にした上で、市民の防火防災活動を促進し、これを積極的に支援します。

また、消防団の地域に根ざした各種活動との連携を図り、災害の低減を目指します。

（2）的確な災害対応

災害発生時においては、迅速・確実に対応することによって被害を最小限に抑えるとともに、本市又は他市町村において大規模な災害が発生した場合の広域的な災害対応に備え、緊急消防援助隊登録機関としての役割を認識し、各地域や関係機関・団体との連携を強化するなど、効果的な施策を展開します。

鶴岡市消防本部 マスコットキャラクター てんじんくん



救急隊



消防隊



救助隊

2025年度全国統一防火標語 「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

運営方針

消防本部の使命と目標を達成するため、消防本部運営方針を次の5項目とします。

(1) 消防力の維持・強化

消防装備の充実、消防庁舎などの計画的な整備を進め、消防の広域連携・協力体制を維持するとともに、地域の実情に即した組織体制を検討します。また、高機能消防指令センターの更新と消防救急デジタル無線設備の適切な維持管理を図ります。

職員の体調管理を徹底し、消防機能が低下することがないように全力を尽くします。

(2) 防火対策の推進

住宅火災における出火件数の低減と逃げ遅れゼロを図るため、啓発活動を強化します。また、建物利用者の安全を確保するため、消防法令違反対象物の是正対策を徹底します。

(3) 救急救命体制の整備・充実

救急患者の救命率向上を図るため、救急救命士の計画的な養成を進めます。また、救急隊が到着するまでの間、市民から応急手当を実施していただけるようにするため、応急手当普及啓発活動の充実を図ります。

(4) 消防団組織の充実・強化

社会構造や就業形態の変化により消防団員が減少する中で、地域の消防力が低下しないよう効果的な消防団の体制づくりを進めることで、団員の確保と、災害対応能力の向上を図ります。

また、非常備消防車両や施設の整備を計画的に進め、消防力の確保を図ります。

(5) 市民志向・現場重視の施策推進

複雑多様・大規模化する災害への対応を強化するためには、市民の理解と協力が不可欠です。このため、消防行政に関する情報を発信し、情報共有を促進します。市民と協力して自助・共助・公助の原則に基づくまちづくり・コミュニティづくりを推進し、市民一人ひとりの安全と安心の確保に努めます。災害時の要配慮者や幼少年齢者を対象とした各施策についても、関係部局や市民との連携で確実に進めるとともに、各種広報業務を通じて情報を共有します。

3 重点取組項目

【総務関係】

(1) 消防力の維持・強化及び消防機能の整備・充実

消防救急車両や資機材などについては、消防力の低下を招かないよう時代に合った検討を行うとともに、署所や人員、消防車両等の機能的配置など、引き続き消防機能の整備・充実を図る。

- ① 昭和49年建設の朝日分署の老朽化対策として、朝日庁舎敷地内での庁舎との合築

整備として朝日庁舎改築事業と連携し、開署に向け、事業を進める。

- ② 地域の実情に即した消防体制の更なる充実強化を図るため、救急自動車及び指揮車、梯子車を更新整備する。
- ③ 消防活動における隊員の安全を確保するとともに、士気の高揚と活動能力の向上を図るため、老朽により性能不足となった防火衣を更新する。
- ④ 市民の生命と身体を守るため、救急需要に応じた日勤救急隊の運用など実情に即した組織体制の構築を図る。

（２）消防業務の高度化等に対応する人材育成

複雑・多様化する災害に的確に対応し、将来にわたって持続可能な消防体制を整備・確立するため、消防本部及び消防署（分署）の果たす役割と階級・職種別等に応じたより高度で専門的な知識・技術を習得する専科教育を実施する。

- ① 隊長等の職務能力の向上を図る幹部教育、また需要が多く高度化する救命処置に対応するための救急教育などの充実を図る。
- ② 人材育成を継続しながら、適材適所を念頭に職員配置する。
- ③ 他事務部局との連携を一層強化するとともに、消防職員の能力向上を図るため、市及び県の関係部局へ職員派遣を継続して行う。

（３）明るく良好な職場環境の創出

業務運営において職員が能力を十分に発揮するため、職員同士が互いを尊重し合い、円滑な人間関係を築きながら、明るく良好な職場環境を創出する。

- ① 「鶴岡市職員のハラスメント防止ガイドライン」及び、消防長の「ハラスメント防止宣言」に基づき、全職員がハラスメントを正しく理解し未然防止に努めます。
- ② 消防職員が悲惨な現場で活動した後に起こすストレス反応（惨事ストレス）を軽減させるため、「鶴岡市消防惨事ストレスケア実施要綱」に基づき対応するとともに、メンタルヘルス（心の健康）自己申告制度等を有効活用し、悩みの早期の気づきを目指す。
- ③ 産業医巡回、管理職及び衛生管理者の職場巡視を積極的に実施し、職員との意思疎通を図り、職場環境、事務能率の向上改善に努める。
- ④ 職員の不祥事の未然防止（抑止）を図るため、倫理規範推進委員会を有効に活用し、積極的な施策取り組みによる「信頼される消防職員づくり」を展開する。
- ⑤ 関連研修へ職員を派遣し、伝達研修や意見交換などを通し、職員一体の取り組みとして各々の意識の醸成を図る。

【予防関係】

（１）火災予防に係る啓発活動の充実

出火件数の減少と火災による死傷者の撲滅を図るため、効果的な啓発活動を展開する。また、関係団体と連携を図りながら、地域に防火思想を浸透させる。

- ① 出火及び延焼拡大の防止対策について周知を図るため、消防車両や防災行政無線による日常的な防火広報を実施するほか、消防本部インスタグラムやホームペー

ジを活用する。また、火災多発時には、発生要因を掲載した防火チラシを配布する。

- ② 市民一人ひとりが災害への対応力を身につけていただくため、町内会、自主防災組織、事業所等と連携を図り、地域の実情に合わせた防火訓練や研修を実施する。また、有事の際に自ら考えて行動できるよう、幼・少年期からの防火教育を推進する。
- ③ 春・秋季火災予防運動期間の行事について、危険物安全協会、防火管理連絡協議会、少年女性防火委員会、消防協会、消防団等の関係団体と連携し、住民と対面する場を増やした防火指導を実施する。
- ④ デジタルサイネージ（電子表示看板）による映像を活用した臨場感のある啓発活動を展開し、防火の必要性について再認識していただくよう呼び掛ける。

（２）住宅防火対策の推進

住宅火災による被害を低減させるため、早期の発見及び迅速な初期消火ができるよう、防災機器の設置・維持管理や防火対策の指導を推進する。

- ① 火災発生を早期に覚知するため、消防関係法令に基づいた住宅用火災警報器の設置を指導する。また、「住宅用火災警報器 点検の日」を中心とし、作動点検による適正な維持管理と経年劣化した機器の交換を推奨する。
- ② 出火及び延焼拡大を防止するため、暖房器具や調理器具は安全装置が設置されているもの、寝具等は防災品であるものの使用を推奨する。
- ③ 高齢化社会が進展していることから、高齢者世帯に対する防火訪問を継続し、火気取り扱いの注意事項等について周知の拡大を図る。

（３）事業所等における防火安全対策の推進

消防法令違反に対する是正指導を強化することで、不特定多数の利用者に対する安全を確保する。

- ① 消防法令違反を認めた事業所について、追跡調査を強化し早期の是正に努める。特に、重大な消防法令違反がある事業所には「違反公表制度」を適用し、違反状況を公表する。また、改修が遅れている場合は警告・命令を適用し、厳正に対処する。
- ② 危険物施設内における事故の未然防止や被害の拡大を防止するため、予防規程に沿った適正な点検要領や保安対策を指導する。

（４）火災調査員のレベルアップ

火災の様態は複雑かつ多様化し、火災調査の資質の向上を図る必要があることから、火災の発生メカニズムに関する職員研修を実施する。また、予防課員と各課・各分署員の合同による現場調査体制を強化し、経験を積み重ねることでレベルアップを図る。

（５）火災予防分野における電子申請の利用の推進

総務省の自治体におけるDX推進に伴い、利便性向上を目的として運用している「火災予防分野における電子申請」については、マイナポータルが「e-Gov」に切替

えとなることから、円滑な移行のため、ホームページへの公開や広報チラシの配布による周知活動を強化するほか、当電子申請自体の更なる普及を図る。

【警防関係】

（１）消防力の充実強化

複雑・多様化する災害に迅速かつ的確に対応するため、消防装備の計画的な整備を進めるとともに、関係機関との連携強化を図る。

- ① 消防活動の機動力を確保するため、消防車両及び資機材の整備・更新を計画的に進める。
- ② 災害時の消防活動が迅速・的確・円滑に行われるよう関係機関とのより実践に即した合同訓練等を計画的に実施し連携強化を図る。
- ③ 緊急消防援助隊に１２隊４７名を登録し、山形県の代表消防機関代行として県内消防本部と連携を図るとともに、毎年開催される緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に参加して、実践的な活動等の連携強化を図る。また、「鶴岡市消防本部受援計画」に基づいた訓練等を実施し、警防本部の初動体制と受援体制の強化を図る。

（２）救急救命体制の整備

高齢化・多様化する救急需要に対応するため、救急救命士の計画的な養成と救急車両・資機材の更新を進め、救急活動の質の向上を図る。また、救急隊が到着するまでの間、市民から応急手当を実施していただけるようにするため、応急手当の普及啓発活動の充実を図る。

- ① 救急救命士を計画的に養成し救急業務の高度化を図るとともに、指導救命士を中心とした教育体制による救急隊員の知識、技術の向上と現場対応力の強化を図る。
- ② 応急手当の普及啓発として、e-ラーニングを併用し、より多くの市民が受講しやすい応急手当講習会を開催するとともに、応急手当普及員と連携した啓発活動を展開して、救急隊が到着するまでの市民による応急手当実施率の向上を図り、救命率向上に繋げる。
- ③ 高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材の整備として、老朽化した車両及び資機材を更新し、救急現場での迅速・的確な救命処置を展開することにより、救急活動の質の向上を図る。
- ④ 医療機関や保健所、健康福祉部局と連携し、高齢化・多様化する救急事案において、市民ファーストを考慮した活動体制の強化を図る。また、病院選定における管外への搬送件数が増加している傾向から、庄内メディカルコントロール協議会を通して、医療機関等の会議に参画することにより、地域救急需要に係る情報共有と連携強化を図り、円滑な救急活動に繋げる。
- ⑤ 「マイナ保険証を活用した救急業務の円滑化」の令和７年度実証事業参加において、運用ルールを遵守し救急業務の円滑化を図る。

（３）消防団の組織体制の強化

地域の消防力が低下しないよう効果的な消防団の体制づくりを進めるとともに団員の確保と災害対応能力の向上を図る。

- ① 組織検討委員会で策定した「班の統合計画」を継ぐ班統合の検討と併せ資機材の整備を進めるとともに、地域と連携を図りながら班の母体となる「部・分団の統合」等の検討を進め、消防力・機動力の維持強化を図る。
- ② 老朽化している消防団ポンプ庫及び耐震性貯水槽の整備を計画的に進める。また、老朽化した無蓋貯水槽の撤去を含めた設備を検討する。
- ③ 地域の実情に即した災害現場で役立つ実践的な訓練を推進するとともに、各種行事や研修会等の内容を検討し、団員がやりがいを持ち活動しやすい環境の整備と団員の負担軽減を図る。
- ④ SNS等を活用し消防団の活動状況と必要性を市民に広報するとともに、地域防災訓練等への参加により、住民とのつながりと理解を深め、団員の確保と入団促進を図り、地域消防力の維持強化を推進する。
- ⑤ 消防団員の約８割が被用者であり、消防団活動には、事業所等の消防団への理解と協力が不可欠であることから、積極的に鶴岡市消防団協力事業所表示制度の周知、加入を促進し、団員が入団しやすく、かつ活動しやすい環境整備を図る。
- ⑥ 団員のスマートフォン端末に消防団公式LINEアプリを導入し、消防団員及び消防職員の事務負担軽減を図る。また、災害時における情報共有体制の強化を図り、災害による被害の軽減に繋げる。

【消防署関係】

（１）警防活動体制の充実強化

複雑多様化する各種災害に的確に対応するため、警防活動体制の充実強化を図る。

- ① 火災の特性を踏まえた現場指揮能力の向上と安全管理体制確立のため、指揮隊運用研修や全署で取り組む火災防ぎょ訓練を実施し、消防活動体制の強化を図る。
- ② 消防活動マニュアルに基づく訓練及び研修を実施し、各隊の活動要領の統一化とともに災害対応力の強化を図る。
- ③ 全国的に発生している地震や土砂災害等、特殊災害の情報を職員間で共有を図り、地域特性を考慮した警防計画を随時更新する。また、警防計画に基づく研修や訓練を実施し、特殊災害等発生時の被害軽減を図る。

（２）救助活動体制の充実強化

複雑多様化する各種救助事案及び、地震や台風、豪雨、土砂災害等の大規模災害に的確に対応するため、救助活動体制の充実強化を図る。

- ① 救助資器材を活用した訓練を継続的に実施するとともに、大規模災害発生時における専門的な知識と高度な技術の習得に努め、隊員の育成を図る。
- ② 事故発生時のスムーズな救助活動のため警察、防災航空隊、海上保安庁等の関係機関と合同訓練を実施し連携強化を図る。
- ③ 救助技術訓練を実施し、救助技術の向上と救助隊長の育成により隊員間の連携力

を向上させ、現場対応能力の強化を図る。

（３）救急活動体制の充実強化

複雑多様化する救急需要に的確に対応するため、救急活動体制の充実強化を図るとともに、救急隊が到着するまでの間、市民が応急手当を実施していただけるようにするため、応急手当の普及啓発活動の充実を図る。

- ① 救急活動マニュアルに基づく訓練を実施し、救急隊員の資質と対応力向上を図る。
- ② 救命率向上のため、感染対策に留意しながら応急手当等の救急講習を定期的に行う。
- ③ 円滑な救急活動を実施するため、警防課と連携し、医療機関及び福祉部局等との検討会や情報交換会を定期的に行い連携強化を図る。

（４）広域応援・受援体制及び非常体制の充実強化

本市又は他市町村の大規模災害発生時に、広域的な災害対応が的確に実施できる体制を構築するため、広域応援・受援体制及び非常体制の充実強化を図る。

- ① 大規模災害発生時には、緊急消防援助隊における山形県の代表代行消防機関として、県大隊長の役割を担うことから、緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練及び山形県総合防災訓練への参加により、現場指揮及び部隊活動能力の強化を図る。
- ② 大規模災害発生時における対応能力の強化と現場機能の継続性確保のため、「鶴岡市消防警防規程」や「鶴岡市消防本部受援計画」等の大規模災害に関連する要綱等に基づく研修及び大規模災害対応訓練を実施し、現場活動体制と受援体制の充実強化を図る。

（５）火災予防体制の充実強化

住宅及び事業所からの出火防止と発災時の被害軽減のため、火災予防体制の充実強化を図る。

- ① 火災予防査察の実施により、各事業所における防火管理体制の確立を指導するとともに、重大な消防法令違反対象物には予防課と連携した早期是正を推進する。
- ② 各自治会等においての防災訓練を通して広く市民に働きかけ、住宅における防火・防災対策意識の高揚を図る。

【通信指令関係】

（１）消防通信指令設備の充実強化

消防通信機能の中核である消防通信指令設備を効果的に運用するため、設備の更新を計画的に進め、適切な維持管理を図る。

- ① 高機能消防指令センター設備の全面更新事業を進める。
- ② 高機能消防指令センターと消防救急デジタル無線設備等を適切に維持管理する。

(2) 適切な 119 番通報受理体制の確立

災害発生地点の早期特定と出動の迅速化に繋げるため、正しい 119 番通報要領の周知とともに、要配慮者通報システムの充実化を図る。

- ① 多様な手段で正しい 119 番通報要領の周知を継続的に行う。
- ② 救急部門との協働により救急聴取要領のスキルアップを図る。
- ③ 要配慮者通報手段の実情を把握しフォロー体制の充実化に繋げる。

(3) 大規模・特殊災害発生時における通信初動体制の強化

災害発生時における円滑な情報伝達と効果的な現場活動の支援体制を確立する。

- ① 映像共有システムを活用し効果的な情報収集と情報伝達を図る。
- ② 通信プロトコルや各種災害マニュアル等を活用した対応要領を研修し、災害初動時の対応力向上を図る。

管内情勢編



本部庁舎上空からの写真

沿革

- 昭和 48 年 4 月 1 日 鶴岡地区消防事務組合発足、1 市 5 町 1 村の広域消防体制成る。
鶴岡市からの出向者 87 名、事務組合採用者 30 名、総員 117 名
- 昭和 49 年 3 月 28 日 温海、朝日分署新庁舎落成開署（温海分署には救急自動車配備）
温海分署 16 名、朝日分署 12 名
- 4 月 1 日 27 名増員、総員 144 名
- 10 月 1 日 藤島、羽黒分署新庁舎落成開署 藤島分署 12 名、羽黒分署 12 名
- 10 月 31 日 消防本部・消防署新庁舎落成
- 昭和 50 年 2 月 17 日 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、駅前分署に配備
- 4 月 1 日 24 名増員、総員 168 名
- 10 月 1 日 三川、櫛引分署落成開署 三川分署 12 名、櫛引分署 12 名
- 12 月 9 日 山形県農業共済組合連合会から救急自動車 3B 型の寄贈を受け、消防署に配備
- 昭和 52 年 4 月 1 日 8 名増員、総員 176 名
- 9 月 27 日 日本船舶振興会から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、朝日分署に配備
- 昭和 53 年 3 月 10 日 山形県広域消防相互応援協定の締結
- 4 月 1 日 6 名増員、総員 182 名
- 5 月 1 日 救助隊発足
- 11 月 14 日 自治体消防 30 周年記念式典を文化会館で挙行政
- 11 月 27 日 山形県農業共済組合連合会から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、温海分署に配備
- 昭和 54 年 4 月 1 日 7 名増員、総員 189 名
- 昭和 55 年 2 月 21 日 高層建物火災に備え 32m 級はしご車を購入、消防署に配備
- 4 月 1 日 1 名増員、総員 190 名
- 8 月 28 日 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 BD-I 型の寄贈を受け、湯野浜分署に配備
- 12 月 4 日 指令車（ニッサングロリア E403 型）を購入、本部に配備
- 昭和 56 年 7 月 10 日 望楼解体撤去に伴い、庁舎屋上に無線設備（パンザマスト）を新設
- 8 月 5 日 昭和 31 年鶴岡市消防時代に建設された望楼が老朽により解体撤去
- 昭和 57 年 3 月 1 日 水槽付消防ポンプ自動車 IB 型を購入（更新）消防署に配備
- 4 月 1 日 職員の健康管理の充実を図るため、産業医を委嘱し衛生委員会を設置
- 6 月 28 日 山形県防災行政無線局が消防本部通信指令室に設置開局され、災害時における緊急連絡及び情報収集体制が整備される。
- 8 月 24 日 日本消防協会から救急自動車 2B 型及び緊急吸水濾過器 1 基の寄贈を受け、消防署に配備
- 昭和 58 年 12 月 26 日 空気呼吸器ボンベの充填機を購入

- 昭和 59 年 1 月 20 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型を購入（更新）大山分署に配備
 3 月 8 日 日本損害保険協会から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、駅前分署に配備
 11 月 26 日 水槽付消防ポンプ自動車 II 型購入（更新）消防署に配備
- 昭和 60 年 1 月 31 日 広報車を購入（更新）
 11 月 18 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型を購入（更新）消防署に配備
 12 月 5 日 日本自動車工業会から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、温海分署に配備
- 昭和 62 年 3 月 30 日 通信指令装置を更新
 4 月 1 日 集中管理システムの導入により、職員 3 名を減ずる。総員 187 名
- 昭和 63 年 2 月 17 日 通信指令室に地図検索装置及び気象観測装置を設備
 11 月 8 日 鶴岡地区消防事務組合課題検討委員会を設置し、高齢化対策等諸課題について検討
- 平成元年 3 月 20 日 救助工作車を購入、消防署に配備
 6 月 5 日 査察車を購入（更新）消防本部に配備
 11 月 30 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型を購入（更新）藤島分署に配備
- 平成 2 年 10 月 20 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型を購入（更新）櫛引分署に配備
 11 月 1 日 愛の福祉電話受信センター設備（災害弱者緊急通報システム）を通信指令室に設置
- 平成 3 年 3 月 18 日 救急自動車 2B 型を購入（更新）消防署に配備
 4 月 1 日 消防職員の高齢化対策として、事務組合構成市町村への身分移行始まる。
 （鶴岡市 4 名、羽黒町 1 名、櫛引町 2 名、朝日村 1 名、温海町 1 名）
 6 月 21 日 水防指令車を購入（更新）消防本部に配備
 8 月 30 日 救急自動車 2B 型を購入（更新）駅前分署に配備
 11 月 15 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型を購入（更新）三川分署に配備
- 平成 4 年 4 月 1 日 消防職員の高齢化対策として、8 名の職員が身分移行する。
 （鶴岡市 4 名、藤島町 1 名、三川町 2 名、温海町 1 名）
 7 月 1 日 指揮 2 号車（トヨタクラウン）を購入（更新）消防本部に配備
 11 月 12 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型（4WD）を購入（更新）朝日分署に配備
 11 月 26 日 化学車 CD—II 型を購入（更新）駅前分署に配備
- 平成 5 年 4 月 1 日 6 名増員、総員 193 名
 消防職員の高齢化対策として、2 名の職員が身分移行する。
 （羽黒町 1 名、藤島町 1 名）
 6 月 29 日 広報 2 号車（ニッサン 4WD）を購入（更新）消防署に配備
 7 月 22 日 日本防火協会から広報 1 号車（トヨタハイエース）の寄贈を受け、消防署に配備
 8 月 30 日 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 CD—I 型の寄贈を受け、消防署に配備
 12 月 13 日 水槽付消防ポンプ自動車 CD—I 型を購入（更新）消防署に配備
- 平成 6 年 4 月 1 日 4 名増員、総員 197 名
 消防職員の高齢化対策として、4 名の職員が鶴岡市に身分移行する。
 4 月 1 日 消防職員の高齢化対策として、7 名の職員が鶴岡市に身分移行する。

- 9 月 5 日 緊急消防援助隊に救助隊を登録
 11 月 14 日 山形県広域応援隊に関する覚書の締結
 12 月 20 日 緊急消防援助隊派遣に関する要領の策定
 平成 8 年 1 月 16 日 高規格救急自動車を購入、消防署に配備
 1 月 29 日 高度救命処置用資器材を購入
 1 月 31 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型（4WD）を購入（更新）温海分署に配備
 2 月 27 日 櫛引分署新庁舎竣工（櫛引町役場庁舎改築関連事業）
 （敷地面積 458.12 m² 建築面積 178.2 m² 木造平屋建カラー鉄板葺）
 4 月 1 日 4 名増員、総員 201 名
 消防長の階級を消防正監、消防次長を消防監とする。
 消防本部予防課に指導係を設置、消防署は消防・通信・警防・予防
 ・救急の 5 係制とし、救急隊を専隊化、業務執行体制の強化を図る。
 9 月 31 日 救急自動車 2B 型を購入（更新）朝日分署に配備
 10 月 1 日 職員の勤務条件及び厚生福利等の向上を図るため、消防組織法に
 基づき鶴岡地区消防事務組合職員委員会を設置する。
 12 月 17 日 大規模災害時における消防活動の支援団体として、元消防職員による
 「消防ボランティア」が発足
 平成 9 年 1 月 10 日 格納庫・リフト付き消防資器材搬送車を購入、消防署に配備
 3 月 4 日 （財）日本宝くじ協会の援助を受けた（財）救急振興財団から、応急手当
 の普及啓発を促進するため、救急指導車の寄贈を受け、消防署に配備
 平成 9 年 4 月 1 日 2 名増員、総員 203 名
 7 月 18 日 大規模災害用資材としてエアータント A—66 型を購入、消防署に配備
 12 月 24 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型を購入（更新）消防署に配備
 平成 10 年 1 月 7 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型を購入（更新）湯野浜分署に配備
 2 月 9 日 山形県共済農業協同組合連合会等から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、
 駅前分署に配備
 4 月 1 日 消防署通信係を課制の通信指令室に改め、管理職員を配置して通信
 体制の強化を図る。
 山形県消防防災航空隊の発隊に伴い、隊員 1 名を派遣する。
 8 月 31 日 愛の福祉電話（災害弱者緊急通報システム）受信センター設備更新
 平成 11 年 4 月 1 日 駅前分署を消防・救急の 2 係制とし、救急体制の強化を図る。
 12 月 1 日 藤島分署車庫棟竣工
 救急高度化推進事業として、藤島分署に救急自動車 2B 型を配備、
 運用を開始する。
 平成 12 年 1 月 20 日 消防ポンプ自動車 CD—I 型を 2 台購入（更新）駅前分署及び羽黒分署に
 配備
 3 月 9 日 通信指令室の地図検索装置を更新
 3 月 17 日 日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け、駅前分署に配備
 5 月 16 日 全国消防長会組合消防委員会を当地区で開催する。
 11 月 28 日 指揮 1 号車（トヨタランドクルーザー）を購入（更新）消防署に配備
 平成 13 年 4 月 1 日 消防署の係制を警備第 1 課・警備第 2 課の課制に改め、それぞれに管理

職員を配置して警防体制の強化を図るとともに通信指令室を通信指令課に改める。

温海分署を消防・救急の２係制とし、体制の強化を図る。

- 平成 14 年 1 月 24 日 消防ポンプ自動車 CD－I 型を 2 台購入(更新)
藤島分署及び櫛引分署に配備
- 3 月 31 日 消防緊急通信指令施設の老朽化に伴い、改修工事を施工するとともに、通信指令課の事務室及び仮眠室を改修する。
- 4 月 1 日 朝日分署及び藤島分署に救急担当係長を配置し、救急体制の強化を図る。
- 平成 15 年 2 月 1 日 救助工作車Ⅲ型を購入(更新)消防署に配備
- 4 月 1 日 水難救助隊が発足
- 7 月 18 日 高規格救急自動車を購入(更新)、消防署に配備
- 11 月 25 日 羽黒分署車庫棟竣工
救急高度化推進事業として、羽黒分署に救急自動車 2B 型を配備・運用を開始する。
- 12 月 25 日 はしご自動車を購入(更新)消防署に配備
- 平成 16 年 7 月 17 日 緊急消防援助隊（新潟県内集中豪雨）出動
- 10 月 23 日 緊急消防援助隊（新潟県中越地震）出動
- 平成 17 年 10 月 1 日 組合構成市町村のうち、三川町を除く市町村が合併し、組合構成市町が鶴岡市と三川町となる。
- 10 月 11 日 高規格救急自動車を購入(更新)温海分署に配備
- 12 月 25 日 山形県広域応援隊(庄内町 J R 脱線事故)出動
- 平成 18 年 6 月 1 日 消防バイク隊発足
- 10 月 27 日 高規格救急自動車を購入（更新）朝日分署に配備
- 平成 19 年 1 月 10 日 消防バスを消防署に配備（福祉課より所管換え）
- 3 月 31 日 鶴岡地区消防事務組合解散
- 4 月 1 日 鶴岡市消防本部発足
三川町の消防事務委託を受託
- 8 月 9 日 水上バイクを購入し消防署に配備
- 8 月 29 日 広報 3 号車及び査察車（トヨタノア）を購入(更新)し、消防本部に配備
- 11 月 7 日 バンカー型防火衣を全職員に貸与
- 11 月 19 日 消防ポンプ自動車 CD－I 型を 2 台購入(更新)
大山分署及び朝日分署に配備
- 12 月 1 日 西分署新庁舎竣工（湯野浜分署前国道拡幅工事のため）
（敷地面積 2,551.42 m² 建築面積 437.77 m² 鉄筋コンクリート平屋建て）
西分署に高規格救急自動車を配備、運用を開始する
大山分署が西分署の分遣所となる
- 平成 20 年 2 月 20 日 広報 1 号車（トヨタハイエース）を購入（更新）し、消防本部に配備
- 6 月 14 日 緊急消防援助隊（岩手・宮城内陸地震）出動
- 7 月 24 日 緊急消防援助隊（岩手沿岸北部を震源とする地震）出動
- 10 月 1 日 消防本部・本署庁舎建設着工
- 10 月 13・14 日 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練を鶴岡市赤川河川敷公園

及び湯野浜温泉で実施（97 機関・176 隊・763 名参加）

- 11 月 1 日 高規格救急自動車を購入（更新）駅前分署に配備
- 平成 22 年 3 月 1 日 高規格救急自動車を購入（更新）藤島分署に配備
- 10 月 28 日 JA 共済連山形から高規格救急自動車の寄贈を受け、消防署に配備
- 平成 23 年 3 月 11 日 緊急消防援助隊（東日本大震災・大船渡市）出動
- 3 月 18 日 高機能消防指令センター運用開始
- 3 月 31 日 西分署大山分遣所を廃止
- 4 月 1 日 美咲町に消防本部・本署新庁舎竣工（馬場町より移転）
（建築面積 2,219.93 m²、地上 5 階＋塔屋 1 階、仮眠室棟、屋内訓練棟、
屋上場外離着陸場、屋外救助訓練棟）
馬場町の旧本署が中央分署となる
- 平成 24 年 3 月 1 日 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入消防署に配備
- 4 月 1 日 消防本部警防課の 2 係制を改編し、警防係と管理係に改め、管理職員を
含め 3 名増員し、地域庁舎で担当していた消防団事務を一元的に取扱う
こととし、総員 206 名（条例職員定数 207 名）となった。
- 6 月 29 日 第 24 回消防救助山形県指導会を当消防本部訓練場にて開催
- 7 月 19 日 第 41 回東北地区支部消防救助技術指導会を当消防本部訓練場にて開催
- 11 月 25 日 高規格救急自動車を購入（更新）中央分署に配備
- 12 月 12 日 救助資器材搭載型消防ポンプ自動車を購入（更新）温海分署に配備
- 平成 25 年 4 月 12 日 文園町に中央分署新庁舎開署（馬場町から移転）
（敷地面積 1,175.25 m² 建築面積 260.28 m² 鉄筋コンクリート造 2 階建て）
- 9 月 24 日 鶴岡市消防救急デジタル無線整備着工
- 平成 26 年 3 月 28 日 化学消防ポンプ自動車購入（更新）消防署に配備
- 平成 27 年 2 月 16 日 高規格救急自動車を購入（更新）西分署に配備
- 4 月 1 日 鶴岡市消防救急デジタル無線運用開始
- 4 月 13 日 温海分署新庁舎開署（温海釜谷坂から移転）
（敷地面積 1,770.34 m² 建築面積 264.66 m² 鉄筋コンクリート造 2 階建て）
- 11 月 1 日 予防 3 号車（日産エクストレイル）を購入（更新）し、消防本部に配備
- 12 月 21 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）消防署に配備
- 平成 28 年 2 月 10 日 高規格救急自動車を購入（更新）消防署に配備
- 3 月 30 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）西分署に配備
- 4 月 13 日 三川分署新庁舎開署（同一敷地内に建設）
（敷地面積 1,184.94 m² 建築面積 217.50 m² 鉄筋コンクリート造 2 階建て）
- 4 月 15 日 北分署（旧駅前分署）新庁舎開署（宝町から移転）
（敷地面積 1,055.58 m² 建築面積 265.74 m² 鉄筋コンクリート造 2 階建て）
- 6 月 30 日 愛の福祉電話受信センター設備（災害弱者緊急通報システム）による
業務終了
- 12 月 2 日 羽黒分署新庁舎開署（羽黒地域庁舎へ併設移転）
（敷地面積 7,399.13 m² 分署部分延べ面積 1 階 416.58 m²
鉄筋コンクリート造 2 階建て）
- 平成 29 年 3 月 3 日 積載 1 号車（積載重量 4.75t）を購入（更新）消防署に配備
- 4 月 3 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）藤島分署に配備

- 平成 30 年 2 月 20 日 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入(更新)西分署に配備
 3 月 27 日 指揮 1 号車を購入(更新)消防署に配備
 3 月 31 日 高規格救急自動車を購入(更新)北分署に配備
 4 月 1 日 1 名増員、総員 207 名
- 平成 31 年 2 月 28 日 高規格救急自動車を購入(更新)温海分署に配備
 3 月 13 日 消防ポンプ自動車 CD-Ⅰ型を購入(更新)北分署に配備
 3 月 20 日 消防ポンプ自動車 CD-Ⅰ型を購入(更新)羽黒分署に配備
 3 月 28 日 緊急消防援助隊に係る総務省消防庁無償使用車両の津波・大規模風水害対策車(新規)を消防署に配備
 4 月 1 日 1 名減員、総員 206 名
- 令和元年 6 月 18 日 山形県沖を震源とする地震発生
 発生時間 22 時 22 分 規模 マグニチュード 6.7 震度 6 弱(鶴岡市)
 10 月 1 日 Net119 緊急通報システムと 119 番等多言語通訳サービスを導入し、運用開始
 10 月 13 日 緊急消防援助隊(台風 19 号・宮城県丸森町)出動
- 令和 2 年 1 月 15 日 予防 2 号車(火災原因調査車)を購入(更新)消防本部に配備
 2 月 18 日 救助工作車Ⅱ型を購入(更新)消防署に配備
 3 月 13 日 高機能消防指令システムを部分更新し運用開始
 4 月 1 日 1 名増員、総員 207 名
 7 月 28 日 最上川水害発生。鶴岡市消防本部管内でも多数の被害が発生。
 11 月 30 日 12 誘導心電図伝送システム運用開始
- 令和 3 年 3 月 4 日 消防ポンプ自動車 CD-Ⅰ型を購入(更新)消防署に配備
 3 月 19 日 高規格救急自動車を購入(更新)朝日分署に配備
 8 月 24 日 藤島分署新庁舎開署
 (敷地面積 2,272.38 m² 建築面積 479.48 m² 鉄筋コンクリート造 2 階建て)
 12 月 24 日 消防ポンプ自動車 CD-Ⅰ型を購入(更新)櫛引分署に配備
- 令和 4 年 3 月 24 日 小型動力ポンプ付水槽車を購入 消防署に配備
 12 月 12 日 消防ポンプ自動車 CD-Ⅰ型を購入(更新)朝日分署に配備
 12 月 31 日 西目地内土砂災害発生(災害規模;幅約 100m,高さ 20~30m)
【出動隊】 鶴岡市消防本部 ; 10 隊 114 名
 山形県消防広域応援隊; 37 隊 135 名
- 令和 5 年 3 月 29 日 高規格救急自動車を購入(更新)羽黒分署に配備
 6 月 26 日 荘内三菱電機商品販売株式会社から高規格救急自動車の寄贈を受け、中央分署に配備
 6 月 28 日 第 34 回山形県消防救助技術指導会を当本部にて開催
 7 月 26 日 第 51 回東北地区支部消防救助技術指導会(陸上の部)を当本部にて開催
 8 月 2 日 消防救急デジタル無線設備部分更新(～令和 7 年 2 月まで)
 12 月 4 日 消防ポンプ自動車 CD-Ⅰ型を購入(更新)中央分署に配備
- 令和 6 年 7 月 25 日 大雨による水害発生 鶴岡市消防本部管内でも多数の被害が発生
 10 月 2・3 日 全国消防協会東北地区支部救急実務講習会を当本部にて開催
- 令和 7 年 1 月 20 日 新防火衣へモデルチェンジ

2月26日 緊急消防援助隊（林野火災・岩手県大船渡市）出動
 3月27日 高規格救急自動車を購入（更新）藤島分署に配備

消防庁舎の現況

（R7.4.1 現在）

区分 署別	所 在 地	庁 舎 面 積（㎡）				設置年月日	備 考
		構 造	建 築 面 積	延 面 積	敷 地 面 積		
消 防 本 部 署	鶴岡市美咲町36-1	鉄筋コンクリート造 5階建、一部鉄骨造	2,219.93	5,609.70	9,501.79	S24. 4. 1 H23. 4. 1	開 設 新築移転
中 央 分 署	鶴岡市文園町1-63	鉄筋コンクリート造 2 階 建	260.28	440.55	1,175.25	H23. 4. 1 H25. 4. 12	開 設 新築移転
北 分 署	鶴岡市道形町12-17	〃 2 階 建	265.74	444.36	1,055.58	H28. 4. 15	開 設
西 分 署	鶴岡市下川 字龍花崎41-697	〃 平 屋 建	437.77	437.77	2,551.42	H19.12. 1	開 設
温 海 分 署	鶴岡市湯温海 字湯之尻289	〃 2 階 建	264.66	478.67	1,770.34	S49. 3. 28 H27. 4. 13	開 設 新築移転
朝 日 分 署	鶴岡市下名川 字落合9	〃 〃	197.30	240.16	854.19	S49. 3. 28	開 設
羽 黒 分 署	鶴岡市羽黒町荒川 字前田元89	〃 平屋建	433.54	416.58	7,399.13	S49.10. 1 H28.12. 2	開 設 新築移転
藤 島 分 署	鶴岡市藤島 字笹花51-1	〃 2 階建	265.25	479.48	2,272.38	S49.10. 1 R 3. 8. 24	開 設 新築移転
櫛 引 分 署	鶴岡市上山添 字文栄78-1	木造カラー鉄板葺 平 屋 建	178.20	178.20	458.12	S50.10. 1 H 8. 2. 27	開 設 新築移転
三 川 分 署	三川町大字横山 字西田85-1	鉄筋コンクリート造 2 階 建	217.50	365.90	1,184.94	S50.10. 1 H28. 3. 16	開 設 新築移転



管内情勢

(R7.4.1現在)

区分 市町別	人 口 (住民登録) A	世 帯 数	面 積 B	人口 密度 A ÷ B	消防ポンプ 台数	消防吏員 1人当り		消防ポンプ車 1台当り	
						人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
鶴岡市	人 115,669	49,293	k m ² 1,311.51	人 88.2	13	人 653	278	人 8,898	3,792
鶴岡	84,128	37,569	－	－	8	867	351	10,516	4,696
藤島	8,916	3,220	－	－	1	637	230	8,916	3,220
羽黒	7,163	2,569	－	－	1	512	184	7,163	2,569
櫛引	6,318	2,216	－	－	1	632	222	6,318	2,216
朝日	3,259	1,228	－	－	1	233	88	3,259	1,228
温海	5,885	2,491	－	－	1	327	138	5,885	2,491
三川町	7,009	2,513	33.22	211.0	1	701	251	7,009	2,513
合計	122,678	51,806	1,344.73	91.2	14	4,562	1,742	57,964	22,725

月別気象情報

種別 月別	気 温 (℃)			湿度 (%)			風向・風速(m/s)					降雨量(mm)	
	最高	最低	平均	最小	平均	実効 平均	平均 風速	最大風速		瞬間最大風速			
								風 速	風 向	風 速	風 向		
1 月	11.7	-3.1	3.5	45.3	75.3	75.6	4.7	15.6	西南西	25.9	西北西	130.5	
2 月	20.0	-3.4	3.6	41.1	73.4	72.7	3.5	13.4	北西	22.0	西北西	57.5	
3 月	16.2	-2.6	4.4	22.2	73.6	73.6	4.4	15.0	西北西	25.9	西南西	72.0	
4 月	29.4	0.6	12.6	13.0	71.4	70.8	2.8	13.4	南東	20.7	南東	44.0	
5 月	27.8	4.9	15.7	21.7	73.3	72.6	2.7	18.5	西	33.4	南西	93.0	
6 月	32.4	12.0	21.1	31.7	78.2	78.1	2.3	10.9	北西	20.8	北西	105.5	
7 月	34.1	17.4	25.2	48.3	86.8	85.7	3.3	14.9	南東	29.2	南東	482.5	
8 月	36.2	26.6	21.3	50.1	85.4	85.3	2.0	9.4	西	18.4	西	104.5	
9 月	33.1	14.7	23.1	45.6	85.2	85.4	2.0	13.0	西	21.6	西	328.0	
10 月	28.8	4.3	17.0	41.0	80.7	80.6	2.3	11.3	西	17.9	西	78.0	
11 月	22.5	-0.5	9.6	38.2	78.7	78.6	3.3	14.8	西	26.1	西北西	214.0	
12 月	13.9	-2.2	3.8	43.0	73.9	73.9	5.6	19.1	西	31.4	西北西	211.5	
年 間	36.2	-3.4	13.4	13.0	78.0	77.7	3.2	19.1	西	33.4	西	総雨量	1,921.0
												月平均	160.1

協定書及び覚書締結状況

(R7.4.1 現在)

No.	名 称	締結相手先	締結期間
1	山形県広域消防相互応援協定	市町村・組合消防	S53.3.10～
2	月山及び筍沢地区並びに羽黒スキー場における火災・救急に関する覚書	酒田地区広域行政組合	S63.1.20～
3	月山トンネルにおける通信施設の一部使用及び管理に関する覚書	西村山広域行政事務組合・酒田河川国道事務所月山国道維持出張所	H5.2.3～
4	山形県消防広域応援隊に関する覚書	県内消防	H7.11.14～
5	山形県消防防災ヘリコプター応援協定	山形県・市町村・組合消防	H10.4.1～
6	都市ガス災害対策に関する覚書	鶴岡警察署・庄内中部ガス株式会社	H13.4.1～
7	救急救命士の行う特定行為に対する医師の指示に関する覚書	医療法人徳州会 山北徳州会病院	H13.5.1～
8	月山第一トンネル内における消防業務に関する覚書	西村山広域行政事務組合	H14.10.25～
9	救急車退出路の使用に関する覚書	東日本高速道路株式会社東北支社	H14.11.8～
10	山形県防災情報システムの設置及び管理運用に関する協定書	山形県	H14.11.29～
11	都市ガス災害対策に関する覚書	鶴岡警察署・鶴岡ガス株式会社	H16.5.31～
12	三川町と鶴岡市との間における消防事務の委託に関する協定	三川町	H19.4.1～
13	庄内空港及びその周辺における消火救護活動に関する協定書	山形県	H19.4.1～
14	消防相互応援協定(消防団)	村上市	H20.4.1～
15	鶴岡市 村上市 消防相互応援協定	村上市	H20.4.28～
16	救急業務に関する覚書	村上市	H20.4.28～
17	鉄道災害における消防機関と鉄道事業者の連携に関する覚書	県内消防・山辺町・中山町・鉄道株式会社5社	H21.10.1～
18	日本海東北自動車道における救急業務に関する覚書	酒田地区広域行政組合 東日本高速道路株式会社東北支社	H24.3.16～
19	山形自動車道における救急業務の覚書	酒田地区広域行政組合 東日本高速道路株式会社東北支社	H24.3.16～
20	山形自動車道及び日本海東北自動車道における消防相互応援に関する覚書	酒田地区広域行政組合	H24.3.24～
21	エボラ出血熱の患者の移送に係る協定書	山形県	H27.2.6～
22	災害時における消防用水等の供給支援に関する協定書	庄内生コンクリート協同組合	H30.2.7～
23	防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定書	全日本不動産協会山形県本部	R3.2.10～
24	防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定書	山形県宅地建物取引業協会	R3.2.10～
25	新型コロナウイルス感染症患者の移送に係る協定書	山形県	R2.8.5～
26	職員の派遣に関する協定書(防災航空隊)	山形県	R6.4.1～R9.3.31
27	覚書(防災航空隊)	山形県	R6.4.1
28	職員の派遣に関する協定書(県消防学校)	山形県	R6.4.1～R9.3.31
29	災害時における災害救助犬の出動に関する協定	山形県・特定非営利活動法人日本レスキュー協会	R6.8.26～
30	実務研修に関する協定書	公益財団法人日本消防協会	R7.4.1～R9.3.31

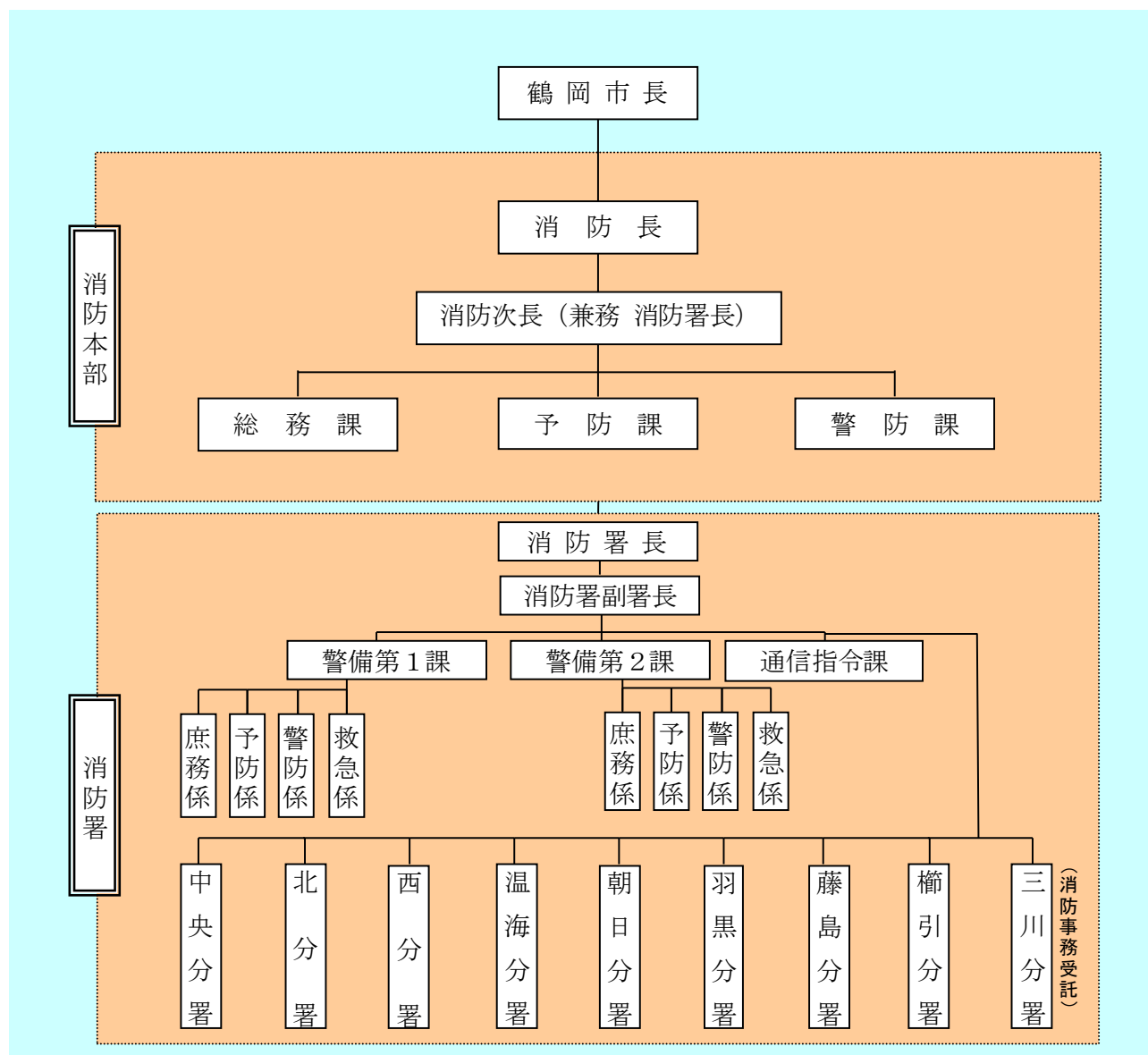
総務編



消防本部庁舎外観

組織

(R7.4.1 現在)



歴代消防長・消防次長・消防署長（R7.4.1 現在）

【鶴岡地区消防事務組合】

1 歴代消防長				2 歴代消防次長				3 歴代消防署長			
歴代	氏 名	就任年月日	離任年月日	歴代	氏 名	就任年月日	離任年月日	歴代	氏 名	就任年月日	離任年月日
初代	今 井 林 作	S48. 4. 1	S49. 3. 31	初代	本 間 文 雄	S48. 4. 1	S52. 5. 31	初代	本 間 文 雄	S48. 4. 1	S52. 5. 31
2代	朝 岡 仲 次	S49. 4. 1	S52. 5. 31	2代	菅 原 保	S52. 6. 1	S59. 3. 31	2代	菅 原 保	S52. 6. 1	S57. 3. 31
3代	本 間 文 雄	S52. 6. 1	S56. 3. 31	3代	蛸 井 佑 吉	S59. 4. 1	S60. 3. 31	3代	蛸 井 佑 吉	S57. 4. 1	S60. 3. 31
4代	北 村 敏 男	S56. 4. 1	S60.12.24	4代	皆 川 亮	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	4代	皆 川 亮	S60. 4. 1	H 2. 3. 31
5代	佐々木 敬 輔	S60.12.25	S63. 3. 31	5代	田 澤 光 廣	H 2. 4. 1	H 7. 3. 31	5代	本 間 昭 彦	H 2. 4. 1	H 7. 3. 31
6代	今 野 陽 三	S63. 4. 1	H 5. 3. 31	6代	青 柳 孝 治	H 7. 4. 1	H 9. 3. 31	6代	板 垣 壮 典	H 7. 4. 1	H10. 3. 31
7代	伊 藤 秀 文	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	7代	板 垣 壮 典	H 9. 4. 1	H10. 3. 31	7代	佐 藤 均	H10. 4. 1	H12. 3. 31
8代	本 間 昭 彦	H 7. 4. 1	H 9. 3. 31	8代	中 村 良 一	H10. 4. 1	H11. 3. 31	8代	佐 藤 丈 彦	H12. 4. 1	H16. 3. 31
9代	鈴 木 壽 和	H 9. 4. 1	H11. 3. 31	9代	佐 藤 均	H11. 4. 1	H12. 3. 31	9代	遠 見 昌 圀	H16. 4. 1	H17. 3. 31
10代	中 村 良 一	H11. 4. 1	H13. 3. 31	10代	佐 藤 弘	H12. 4. 1	H13. 3. 31	10代	眞田莊左ヰ門	H17. 4. 1	H19. 3. 31
11代	佐 藤 弘	H13. 4. 1	H16. 3. 31	10代	佐 藤 丈 彦	H12. 4. 1	H16. 3. 31				
12代	長谷川 政 敏	H16. 4. 1	H19. 3. 31	11代	今 野 孝 彦	H13. 4. 1	H15. 3. 31				
				12代	遠 見 昌 圀	H15. 4. 1	H17. 3. 31				
				13代	眞田莊左ヰ門	H16. 4. 1	H19. 3. 31				

【鶴岡市消防本部】

1 歴代消防長				2 歴代消防次長				3 歴代消防署長			
歴代	氏 名	就任年月日	離任年月日	歴代	氏 名	就任年月日	離任年月日	歴代	氏 名	就任年月日	離任年月日
初代	白 井 宗 雄	H19. 4. 1	H21. 3. 31	初代	工 藤 照 治	H19. 4. 1	H21. 3. 31	初代	工 藤 照 治	H19. 4. 1	H21. 3. 31
2代	板 垣 博	H21. 4. 1	H24. 3. 31	2代	澁 谷 力	H21. 4. 1	H23. 3. 31	2代	澁 谷 力	H21. 4. 1	H23. 3. 31
3代	秋 庭 一 生	H24. 4. 1	H27. 3. 31	3代	難 波 正 広	H23. 4. 1	H26. 3. 31	3代	難 波 正 広	H23. 4. 1	H26. 3. 31
4代	神 林 只 男	H27. 4. 1	H28. 3. 31	4代	神 林 只 男	H26. 4. 1	H27. 3. 31	4代	神 林 只 男	H26. 4. 1	H27. 3. 31
5代	長谷川 幸吉	H28. 4. 1	H31. 3. 31	5代	佐 藤 巖	H27. 4. 1	H28. 3. 31	5代	佐 藤 巖	H27. 4. 1	H28. 3. 31
6代	佐 藤 利 洋	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	6代	丸 山 博	H28. 4. 1	H29. 3. 31	6代	丸 山 博	H28. 4. 1	H29. 3. 31
7代	大 川 治	R 2. 4. 1	R 4. 3. 31	7代	渡 部 徹	H29. 4. 1	H31. 3. 31	7代	渡 部 徹	H29. 4. 1	H31. 3. 31
8代	岡 部 信 宏	R 4. 4. 1	R 6. 3. 31	8代	大 川 治	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	8代	大 川 治	H31. 4. 1	R 2. 3. 31
9代	五十嵐多樹夫	R 6. 4. 1	R 7. 3. 31	9代	今 野 伸	R 2. 4. 1	R 5. 3. 31	9代	今 野 伸	R 2. 4. 1	R 5. 3. 31
10代	伊 藤 慶 也	R 7. 4. 1	現在	10代	五十嵐多樹夫	R 5. 4. 1	R 6. 3. 31	10代	五十嵐多樹夫	R 5. 4. 1	R 6. 3. 31
				11代	小 池 敏 明	R 6. 4. 1	R 7. 3. 31	11代	小 池 敏 明	R 6. 4. 1	R 7. 3. 31
				12代	阿 達 和 夫	R 7. 4. 1	現在	12代	阿 達 和 夫	R 7. 4. 1	現在

令和7年度 当初予算

1 年度当初予算の比較

区 分		7年度当初予算 (千円)	6年度当初予算 (千円)	対 前年比	
				金 額(千円)	割 合(%)
一般会計総額		80,770,000	73,670,000	7,100,000	109.64
消防費		3,207,099	2,471,049	736,050	129.8
(対 一般会計構成比)		4.0	3.4	—	—
消防費の内訳	常備消防費	2,765,165	1,895,958	869,207	145.8
	非常備消防費	211,498	222,067	△ 10,569	95.2
	消防施設費	181,115	319,413	△ 138,298	56.7
	水防費	596	259	337	230.1
	災害対策費	43,710	28,243	15,467	154.8
	遭難対策費	5,015	5,109	△ 94	98.2

2 過去5年間の歳出決算額(一般会計との比較)

年度	一 般 会 計 (千円)	消 防 費 (千円)	対 一般会計 構成比 (%)
令和元	74,834,750	2,472,457	3.3
令和2	91,074,154	2,279,193	2.5
令和3	77,276,042	2,483,768	3.2
令和4	75,774,885	2,126,897	2.8
令和5	75,583,645	2,345,609	3.1

職員採用状況

(R7.4.1 現在)

年 度	職員定数	採用者数
昭和48	117 名	30 名
昭和49	144 名	28 名
昭和50	168 名	25 名
昭和51	168 名	0 名
昭和52	176 名	10 名
昭和53	182 名	8 名
昭和54	189 名	9 名
昭和55	190 名	1 名
昭和56	190 名	2 名
昭和57	190 名	2 名
昭和58	190 名	2 名
昭和59	190 名	4 名
昭和60	190 名	2 名
昭和61	190 名	3 名
昭和62	187 名	1 名
昭和63	187 名	2 名
平成元	187 名	4 名
平成 2	188 名	7 名
平成 3	187 名	11 名
平成 4	187 名	12 名
平成 5	194 名	9 名
平成 6	197 名	11 名
平成 7	197 名	8 名
平成 8	201 名	6 名
平成 9	203 名	5 名

年 度	職員定数	採用者数
平成10	203 名	6 名
平成11	203 名	1 名
平成12	203 名	5 名
平成13	203 名	1 名
平成14	203 名	5 名
平成15	203 名	4 名
平成16	203 名	4 名
平成17	203 名	5 名
平成18	203 名	3 名
平成19	203 名	8 名
平成20	203 名	3 名
平成21	203 名	5 名
平成22	203 名	4 名
平成23	203 名	4 名
平成24	207 名	10 名
平成25	207 名	8 名
平成26	207 名	12 名
平成27	207 名	10 名
平成28	207 名	10 名
平成29	207 名	10 名
平成30	207 名	5 名
平成31	207 名	6 名
令和 2	207 名	10 名
令和 3	207 名	4 名
令和 4	207 名	4 名

年 度	職員定数	採用者数
令和 5	207 名	3 名
令和 6	207 名	2 名
令和 7	207 名	10 名

令和 7 年度 消防学校等入校計画

1 山形県消防学校

初任科	4 月 3 日	～	9 月 1 2 日	1 6 3 日間	1 0 名
はしご自動車操作科	7 月 1 6 日	～	7 月 1 8 日	3 日間	2 名
救助科	9 月 2 4 日	～	1 0 月 2 8 日	3 5 日間	2 名
救急救命士継続教育	1 0 月 6 日	～	1 0 月 8 日	3 日間	2 名
救急科	1 0 月 3 0 日	～	1 2 月 2 3 日	5 5 日間	2 名
予防査察（危険物）科	1 月 2 0 日	～	2 月 5 日	1 7 日間	2 名
警防（特殊災害）科	2 月 1 7 日	～	3 月 6 日	1 8 日間	2 名

2 救急救命士養成

救急救命東京研修所（前期）	4 月 4 日	～	9 月 3 0 日	6 カ月	1 名
救急救命東京研修所（後期）	8 月 2 9 日	～	3 月 9 日	6 カ月	1 名
救急救命九州研修所（指導救命士）	7 月 8 日	～	8 月 2 0 日	4 4 日間	1 名

3 消防大学校

新任消防長・学校長科	5 月 8 日	～	5 月 2 0 日	1 3 日間	1 名
消防団活性化推進コース	9 月 8 日	～	9 月 1 2 日	5 日間	1 名
幹部科	1 0 月 1 0 日	～	1 1 月 2 8 日	5 0 日間	1 名

消防職員配置状況

(R7. 4. 1 現在)

階級別 所属別			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	の消 防 吏 員 以 員外	合 計
			人 1	人	人	人	人	人	人	人	人	人
消 防 長												1
消 防 本 部	消 防 次 長			1								1
	総 務 課					1	3	2		1	1	8
	予 防 課				1	2	3	1				7
	警 防 課				1	3		2			1	7
消 防 署 長				(1)								(1)
消 防 副 署 長					1							1
消 防 署	本 署	警備第 1 課			(1) 1	5	5	5	4	1		(1) 21
		警備第 2 課			2	7	3	4	6			22
		通信指令課			1	4	2	2	1			10
	分 署	中 央			(1) 1	6	1	5	5			(1) 18
		北			(1) 1	4	3	2	3	1		(1) 14
		西				6	1	4	5	2		18
		温 海				5	3		6	4		18
		朝 日				2	4		6	2		14
		羽 黒				4	1	2	5	2		14
		藤 島				3	3	3	3	2		14
		櫛 引				3	1	1	1	4		10
		三 川				2	2	1	1	4		10
合 計			1	(1) 1	(3) 9	57	35	34	46	23	2	(4) 208

(注) 1 ()は兼務

2 総務課配置の職員3名を、日本消防協会(消防司令補)及び山形県消防学校(消防司令補)及び山形県消防防災航空隊(消防士長)に派遣

3 再任用職員(2名)を除く

年齢別消防職員数

(R7. 4. 1 現在)

階級別 年齢別	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	の消 防 吏 員 以 員外
平均年齢	39.8	59.0	57.0	56.3	52.5	44.0	35.6	28.4	22.5	51.3
年齢合計	8,281	59	57	507	2,990	1,496	1,245	1,305	517	105
吏員数	208	1	1	9	57	34	35	46	23	2
18才～20才	6								6	
21才～25才	20							7	13	
26才～30才	32							29	3	
31才～35才	30						19	10	1	
36才～40才	22					6	16			
41才～45才	14					14				
46才～50才	33				18	14				1
51才～55才	32			2	30					
56才以上	19	1	1	7	9					1

(注) 再任用職員(2名)を除く

在職年数別消防職員数

(R7. 4. 1 現在)

階級別 年別	合 計	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
職員数	208	1	1	9	57	35	34	46	23	2
5 年未満	23	1							22	
5 年以上 10 年未満	35					1	5	28	1	
10 年以上 15 年未満	37					2	17	18		
15 年以上 20 年未満	18					6	12			
20 年以上 25 年未満	17					16				1
25 年以上 30 年未満	18				10	8				
30 年以上	60		1	9	47	2				1

(注) 再任用職員(2名)を除く

消防職員数の推移

(R7. 4. 1 現在)

階級別 年別	合 計	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平成28年	206	1	1	9	31	57	33	23	48	3
平成29年	204	1	1	10	33	54	27	32	43	3
平成30年	207	1	1	10	43	46	26	38	39	3
平成31年 令和元年	206	1	1	9	47	43	26	45	31	3
令和 2年	207	1	1	9	47	41	24	48	33	3
令和 3年	207	1	1	9	48	37	27	52	29	3
令和 4年	209	1	1	10	49	35	31	54	26	2
令和 5年	210	1	1	10	50	33	37	53	23	2
令和 6年	209	1	1	9	55	35	33	51	21	3
令和 7年	208	1	1	9	57	35	34	46	23	2

(注) 再任用職員(2名)を除く

各種免許・特殊技能等資格取得状況

(R7. 4. 1 現在)

免 許 の 種 別			所 有 人 数
自動車 運転 免許	大 型		163
	中 型		23
	準 中 型		15
	普 通 (大型等所持者を除く)		8
	二輪 (大型含む)		81
予 防 技 術 者	防 火 査 察 専 門 員		59
	消 防 用 設 備 等 専 門 員		23
	危 険 物 専 門 員		22
消 設 備 防 士	甲 種		7
	乙 種		37
消 防 設 備 点 検 資 格 者			0
危 取 扱 物 者	甲 種		4
	乙 種		153
	丙 種		11
火 薬 類	甲 種 取 扱 保 安 責 任 者		1
	乙 種 取 扱 保 安 責 任 者		1
毒 物 劇 物 取 扱 責 任 者			3
特定化学物質及び四アルキル鉛等 作 業 主 任 者			9
有 機 溶 剤 作 業 主 任 者			4
免 許 の 種 別			所 有 人 数
衛 生 管 理 者			23
特 殊 無 線 技 士			141
救 急	指 導 救 命 士		2
	救 急 救 命 士		52
	気 管 挿 管 認 定 救 命 士		35
	薬 剤 投 与 認 定 救 命 士		49
	エピネフリン製剤 使用講習修了救命士		46
救急隊員資格者 (救命士除く)			143
赤 十 字 水 上 安 全 法 救 助 員			9
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能			94
玉 掛 け 技 能			87
溶 接 技 能 者			24
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者			25
高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者			2
小 型 船 舶 操 縦 免 許			82
特 殊 小 型 船 舶 操 縦 免 許			79
潜 水 士			106
ダ イ ビ ン グ ラ イ セ ン ス			42
特別管理産業廃棄物管理責任者			3

音楽隊編成表

(R7. 4. 1 現在)

担 当	指 揮 者	フル ー ト	クラ リ ネ ット	アル ト サ ツ クス	ソ プ ラ ノ サ ツ クス	テ ナ ー サ ツ クス	バリ トン サ ツ クス	トラ ン ペ ット	ホ ル ン	トロ ン ボ ー ン	ユー フ オ ニ ア ム	パー カ ッ シ ョ ン	ス ー ザ ホ ン
29人	1	2	5	2	1	1	1	4	3	3	2	3	1

予 防 編



火 災 現 場 の 様 子

防火活動状況

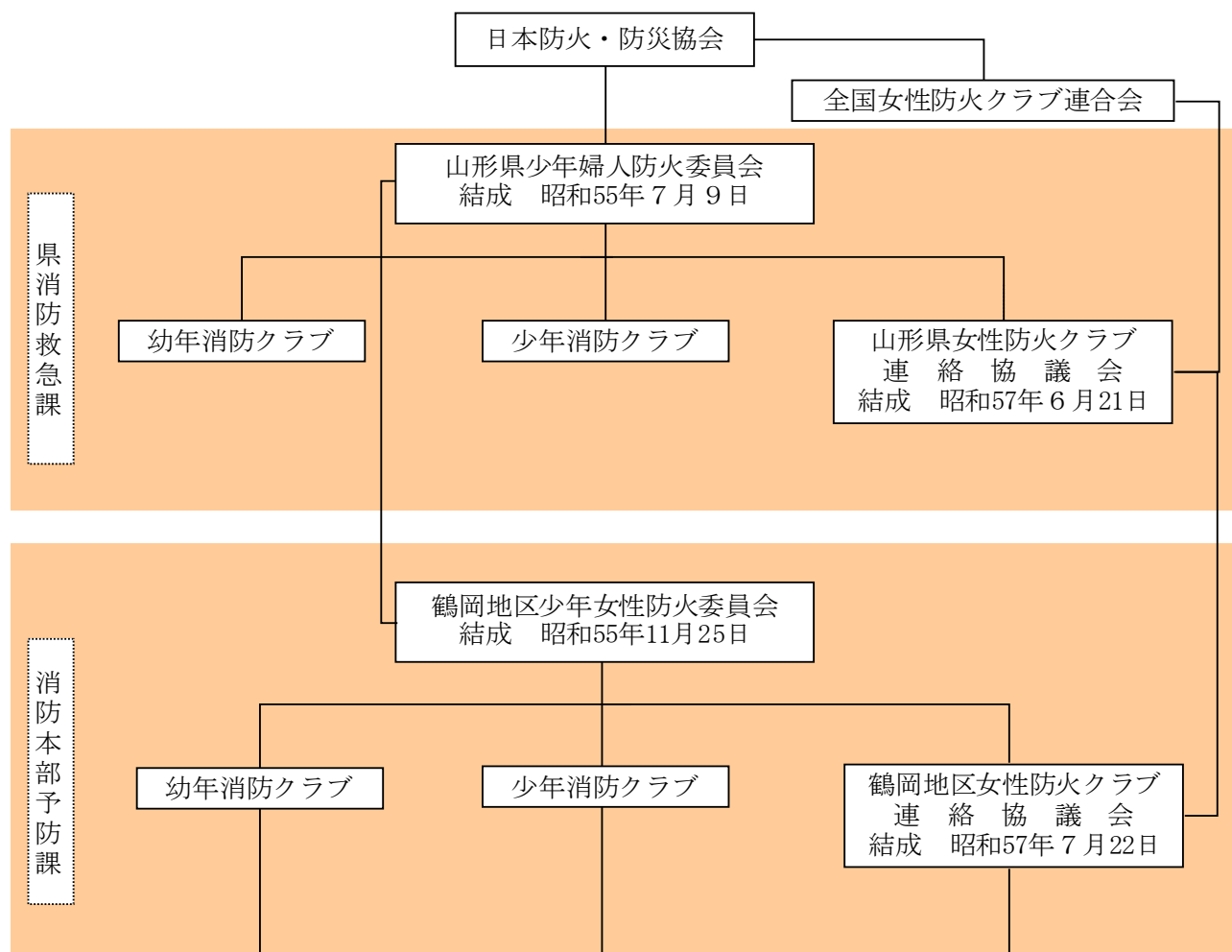
1 防火研修会及び消防訓練実施状況

(R6.4.1～R7.3.31)

指導派遣 区分 市町別	回 数			参 加 人 数			職 員 派 遣 人 数		
	防火研修会	訓 練	計	防火研修会	訓 練	計	防火研修会	訓 練	計
鶴 岡 市	9	533	542	380	26,959	27,339	27	1,806	1,833
鶴 岡	2	333	335	130	18,493	18,623	7	1,045	1,052
藤 島	3	41	44	73	2,483	2,556	10	201	211
羽 黒	1	49	50	100	2,415	2,515	2	188	190
櫛 引	1	52	53	20	2,030	2,050	1	146	147
朝 日	1	25	26	17	744	761	4	89	93
温 海	1	33	34	40	794	834	3	137	140
三 川 町		49	49		2,545	2,545		148	148
合 計	9	582	591	380	29,504	29,884	27	1,954	1,981

2 幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ組織状況

(R7. 4. 1 現在)



	幼 年 消 防 ク ラ ブ	少 年 消 防 ク ラ ブ	女 性 防 火 ク ラ ブ
鶴 岡 市	団体数 9 732 名	団体数 9 159 名	団体数 2 98 名 湯野浜地区婦人防火クラブ 斎地区婦人防火クラブ 結成 昭和59年10月 9 日
	団体数 1 69 名	—	団体数 1 70 名 藤島地域婦人防火クラブ 結成 昭和58年 3 月 21 日
	団体数 1 96 名	—	—
	—	団体数 2 26 名	団体数 1 33 名 櫛引地域婦人防火クラブ 結成 昭和59年 1 月 12 日
	—	団体数 3 26 名	—
	団体数 1 47 名	—	—
三 川 町	団体数 1 113 名	—	団体数 1 9 名 三川町女性防火クラブ 結成 昭和59年 3 月 2 日
計	団体数 13 1,057 名	団体数 14 211 名	団体数 5 210 名

防火管理

防火管理者を定めなければならない防火対象物及び選任対象物

(R7. 3. 31 現在)

市町別 防火対象物の区分		鶴岡市														三川町		合 計	
		鶴岡		藤島		羽黒		楡引		朝日		温海		防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数
		防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数						
(1)	イ 劇場等	9	8	6	6	1		1	1					1	1	1	1	10	9
	ロ 公会堂等	65	63	38	37	9	8	8	8	3	3	2	2	5	5	4	4	69	67
(2)	イ キャバレー等																		
	ロ 遊技場等	11	11	11	11											3	3	14	14
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等																		
	ニ カラオケボックス等	2	2	2	2													2	2
(3)	イ 料理店等	4	4	3	3	1	1											4	4
	ロ 飲食店	113	106	93	86	1	1	6	6	3	3	7	7	3	3	5	5	118	111
(4)	百貨店等	181	180	150	149	9	9	5	5	8	8	2	2	7	7	21	21	202	201
(5)	イ 旅館等	95	95	57	57	2	2	22	22	1	1	2	2	11	11			95	95
	ロ 共同住宅等	12	9	11	8									1	1			12	9
(6)	イ 病院等	26	26	24	24	1	1			1	1					2	2	28	28
	ロ 養護老人ホーム等	49	47	32	31	2	2	6	6	6	6	2	1	1	1	4	4	53	51
	ハ 老人デイサービス等	84	83	64	64	3	2	5	5	9	9	1	1	2	2	3	3	87	86
	ニ 幼稚園等	8	8	6	6	1	1			1	1							8	8
(7)	学校	48	48	32	32	5	5	1	1	6	6	2	2	2	2	4	4	52	52
(8)	図書館等	5	5	3	3			1	1			1	1					5	5
(9)	イ 特殊浴場																		
	ロ 一般浴場	1	1	1	1													1	1
(10)	停車場等																		
(11)	神社・寺院等	93	91	60	59	13	12	4	4	4	4	6	6	6	6	8	8	101	99
(12)	イ 工場等	54	54	41	41	3	3	4	4	4	4	1	1	1	1	4	4	58	58
	ロ スタジオ																		
(13)	イ 駐車場等	1	1	1	1													1	1
	ロ 航空機格納庫																		
(14)	倉庫																		
(15)	事務所等	151	147	98	94	10	10	5	5	11	11	10	10	17	17	16	16	167	163
(16)	イ 特定複合用途防火対象物	137	120	99	87	4	3	9	8	6	5	9	9	10	8	13	12	150	132
	ロ 一般複合用途防火対象物	21	15	10	8			4	2	3	3	1	1	2	1	4	4	25	19
(16の2)	地下街																		
(16の3)	準地下街																		
(17)	文化財	12	12	5	5	1	1	4	4	1	1	1	1					12	12
合 計		1, 182	1, 136	847	815	66	61	85	82	67	66	47	46	69	66	92	91	1, 274	1, 227

査 察

1 査察対象事業所等状況

(R7. 3. 31 現在)

査 察 区 分	用 途 ・ 規 模 等	査 察 執行基準	査察対象物数		
			防火対象物	危険物施設	合 計
第 1 種	(1) 消防法第8条の2の2第1項に規定する防火対象物定期点検報告制度に該当する対象物のうち、消防法第8条の2の3第1項に規定する特例認定を受けない防火対象物 (2) 危険物製造所等のうち、製造所、移動タンク貯蔵所及び給油取扱所	1年に1回以上	113	238	351
第 2 種 (第1種に該当するものを除く。)	(1) 消防法第8条の2の2第1項に規定する防火対象物定期点検報告制度に該当する対象物のうち、消防法第8条の2の3第1項に規定する特例認定を受けた防火対象物 (2) 消防法施行令第11条第1項及び第2項の規定の適用を受ける特定防火対象物 (3) 危険物製造所等	3年に1回以上	270	371	641
第 3 種 (第1種又は第2種に該当するものを除く。)	消防法施行令第21条第1項の規定の適用を受ける防火対象物	5年に1回以上	1,055	0	1,055
第 4 種 (第1種から第3種までのいずれかに該当するものを除く。)	鶴岡市火災予防条例施行規則（平成19年規則第5号）第4条に規定する面積以上の防火対象物	火災の発生状況等から総合的に判断して実施する	1,821	0	1,821
合 計			3,259	609	3,868

※1 特定防火対象物とは、映画館・飲食店・百貨店・旅館・病院等消防法施行令別表第1（1）項から（4）項、（5）項イ、（6）項、（9）項イ、（16）項イ、（16の2）項及び（16の3）項の用途に供するものをいう。

※2 非特定防火対象物とは、特定防火対象物以外のものをいう。

2 防火対象物定期点検報告制度対象物数

(R7. 3. 31 現在)

市町別 対象物の区分			市町別						三川町	合計
			鶴岡市	鶴 岡	藤 島	羽 黒	櫛 引	朝 日	温 海	
(1)	イ	劇 場 等	7	6		1			1	8
	ロ	公 会 堂 等	61	36	7	6	4	3	5	64
(2)	ロ	遊 技 場 等	9	9					3	12
(2)	二	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1	1						1
(3)	ロ	飲 食 店	5	3		2			1	6
(4)		百 貨 店 等	44	35	5		2		2	54
(5)	イ	旅 館 等	30	23		1			6	30
(6)	イ	病 院 等	6	5			1		3	9
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	5	1	3			1	1	6
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	1		1					1
	二	幼 稚 園 等	1	1						1
(16)	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	16	15	1				3	19
合 計			186	135	17	10	7	4	13	211

3 防災管理点検報告制度対象物数

(R7. 3. 31 現在)

市町別 対象物の区分			市町別						三川町	合計
			鶴岡市	鶴 岡	藤 島	羽 黒	櫛 引	朝 日	温 海	
(5)	イ	旅 館 等								
(6)	イ	病 院 等	1	1						1
(7)		学 校	1	1						1
(12)	イ	工 場 等	1	1						1
合 計			3	3						3

4 防火対象物の現況と査察実施状況

(R6. 4. 1～R7. 3. 31 現在)

市町別 防火対象物の区分			鶴岡市														三川町		合 計	
			鶴岡		藤 島		羽 黒		櫛 引		朝 日		温 海		防火対象物数	延対 査察 実施数	防火対象物数	延対 査察 実施数	防火対象物数	延対 査察 実施数
			防火 対象 物数	延対 査察 実施数	防火 対象 物数	延対 査察 実施数	防火 対象 物数	延対 査察 実施数	防火 対象 物数	延対 査察 実施数	防火 対象 物数	延対 査察 実施数	防火 対象 物数	延対 査察 実施数						
(1)	イ	劇場等	10	4	6	4	1		1		1		1		1	1	11	5		
	ロ	公会堂等	80	41	44	21	12	6	10	2	4	3	4	3	6	6	5		85	41
(2)	イ	キャバレー等	1		1													1		
	ロ	遊技場等	13	4	13	4											3	3	16	7
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																		
	ニ	カラオケボックス等	2	1	2	1												2	1	
(3)	イ	料理店等	4	2	3	2	1											4	2	
	ロ	飲食店	135	21	108	14	3	1	8	3	4		7	2	5	1	6	1	141	22
(4)		百貨店等	277	73	221	49	16	5	13	7	11	4	5	2	11	6	20	15	297	88
(5)	イ	旅館等	166	52	99	24	2	1	30	12	5		5	1	25	14	5	0	171	52
	ロ	共同住宅等	685	33	662	30	1		8	3	3		1		10		16		701	33
(6)	イ	病院等	96	16	79	13	4	2	2		6	1	2		3		6	3	102	19
	ロ	養護老人ホーム等	88	23	53	10	6		13	4	10	5	5	3	1	1	8	3	96	26
	ハ	老人デイサービス等	146	41	113	22	5	2	9	5	11	9	4	1	4	2	6	3	152	44
	ニ	幼稚園等	17	3	15	1	1	1			1	1					1	1	18	4
(7)		学校	129	68	78	46	14		16	11	10	5	4		7	6	15	3	144	71
(8)		図書館等	10	5	3	4	1	1	3		2		1						10	5
(9)	イ	特殊浴場																		
	ロ	一般浴場	3	2	2				1				1	1			1		4	2
(10)		停車場等																		
(11)		神社・寺院等	127	9	83	5	14	2	8	1	7		8	1	7		9		136	9
(12)	イ	工場等	870	103	532	39	111	26	40	10	110	15	28	5	49	8	82	7	952	110
	ロ	スタジオ																		
(13)	イ	駐車場等	98	17	55	7	9	3	10	2	12		12	5			13	2	111	19
	ロ	航空機格納庫																		
(14)		倉庫	368	54	241	32	46	9	20	5	34	2	15	5	12	1	32	3	400	57
(15)		事務所等	629	73	356	52	70	9	71		52		34	6	46	6	71	7	700	80
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	155	48	119	37	4	2	11	2	7	4	5	1	9	2	12	3	167	51
	ロ	一般複合用途防火対象物	83	19	57	12	3		6	3	10	3	4	1	3		4		87	19
(16の2)		地下街																		
(16の3)		準地下街																		
(17)		文化財	40	27	18	15	2	2	16	10	2		2						40	27
(18)		アーケード																		
合 計			4,232	739	2,963	444	326	72	295	81	302	52	147	37	199	53	316	55	4,548	794

5 建築確認同意事務処理状況

(R6. 4. 1～R7. 3. 31 現在)

市町別 防火対象物の区分		市町別							三川町	合計
		鶴岡市	鶴 岡	藤 島	羽 黒	櫛 引	朝 日	温 海		
(1)	イ 劇 場 等									
	ロ 公 会 堂 等									
(2)	イ キ ャ バ レ ー 等									
	ロ 遊 技 場 等									
	ハ 性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗 等									
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等									
(3)	イ 料 理 店 等									
	ロ 飲 食 店 等	2	2							2
(4)	百 貨 店 等	4	3		1					4
(5)	イ 旅 館 等	1	1							1
	ロ 共 同 住 宅 等	2	2							2
(6)	イ 病 院 等	3	3							3
	ロ 養 護 老 人 ホ ー ム 等									
	ハ 老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	2	2							2
	ニ 幼 稚 園 等									
(7)	学 校	1	1							1
(8)	図 書 館 等									
(9)	イ 特 殊 浴 場									
	ロ 一 般 浴 場									
(10)	停 車 場 等									
(11)	神 社 ・ 寺 院 等									
(12)	イ 工 場 等	6	5		1				2	8
	ロ ス タ ジ オ									
(13)	イ 駐 車 場 等	5	4		1				1	6
	ロ 航 空 機 格 納 庫									
(14)	倉 庫	13	8	3		2			1	14
(15)	事 務 所 等	13	11	2					2	15
(16)	イ 特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	1			1					1
	ロ 一 般 複 合 用 途 防 火 対 象 物	1						1		1
(16の2)	地 下 街									
(16の3)	準 地 下 街									
(17)	文 化 財									
(18)	ア ー ケ ー ド									
危 険 物 施 設		1	1							1
その他(小規模事業所・住宅)		85	73	5	4	3			9	94
合 計		140	116	10	8	5		1	15	155

危険物規制

1 危険物施設現況数

(R7. 3. 31 現在)

施設区分 市町別	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
		屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計	
鶴岡市	1	51	36	10	195		136	2	430	85	99	184	615
鶴岡	1	41	23	7	113		82		266	47	59	106	373
藤島		2	4		18		14		38	6	11	17	55
羽黒		1	2	1	16		8	2	30	4	6	10	40
櫛引		5	2		10		7		24	5	7	12	36
朝日			2	1	17		13		33	7	9	16	49
温海		2	3	1	21		12		39	16	7	23	62
三川町		8	3		17		12		40	4	3	7	47
合 計	1	59	39	10	212		148	2	470	89	102	191	662

2 危険物施設の許認可等状況

(R6. 4. 1～R7. 3. 31 現在)

施設区分 処理状況	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
		屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計	
設置許可		2			1		8		11				11
変更許可					4		5		9	15	8	23	32
設置完成検査		1					8		9				9
変更完成検査					2		5		7	15	5	20	27

液体危険物タンクの完成検査前検査									
水 張 検 査					水 圧 検 査				
10KL以下	10KLを超え 1,000KL以下	1,000KLを超え 2,000KL以下	2,000KLを超え るもの	合 計	600L以下	600Lを超え 10KL以下	10KLを超え 20KL以下	20KLを超え るもの	合 計
1				1			2		2

仮 使 用													仮貯蔵	仮取扱
製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計		
	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 所	貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 所	地 下 タ ン ク 所	貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 所	移 動 タ ン ク 所	屋 外 貯 蔵 所	計	給 油 取 扱 所			
	2	1							3	13	19	32	35	4

3 年度別危険物施設数

(過去5年間)

施設区分 年度別	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
		屋内貯蔵所	屋外タンク所	屋内タンク所	地下タンク所	簡易タンク所	移動タンク所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計	
令和2年度		61	44	11	228		143	3	490	92	108	200	694
令和3年度		59	41	11	221		141	3	476	92	106	198	674
令和4年度	1	59	40	10	217		144	2	472	91	106	197	670
令和5年度	1	58	40	10	214		146	3	471	91	103	194	666
令和6年度	1	59	39	10	212		148	2	470	89	102	191	662

4 危険物施設立入検査実施状況

(R6. 4. 1～R7. 3. 31)

施設区分 市町別		製造所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
			屋内貯蔵所	屋外タンク所	屋内タンク所	地下タンク所	簡易タンク所	移動タンク所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計	
鶴岡市	施設数	1	51	36	10	195		136	2	430	85	99	184	615
	延査察実施数	1	10	15	2	69		117		214	79	42	121	336
	鶴岡	施設数	1	41	23	7	113		82		266	47	59	373
		延査察実施数	1	6	7	1	33		69		117	47	18	183
	藤島	施設数		2	4		18		14		38	6	11	55
		延査察実施数		1	3		9		14		27	6	7	40
	羽黒	施設数		1	2	1	16		8	2	30	4	6	40
		延査察実施数		1	2	1	8		8		20	3	1	24
	櫛引	施設数		5	2		10		7		24	5	7	36
		延査察実施数		1			5		6		12	4	5	21
	朝日	施設数			2	1	17		13		33	7	9	49
		延査察実施数					5		11		16	5	7	28
	温海	施設数		2	3	1	21		12		39	16	7	62
		延査察実施数		1	3		9		9		22	14	4	40
三川町	施設数		8	3		17		12		40	4	3	7	47
	延査察実施数		1	2		4		12		19	4	2	6	25
合計	施設数	1	59	39	10	212		148	2	470	89	102	191	662
	延査察実施数	1	11	17	2	73		129		233	83	44	127	361

火災統計

1 火災の概況

(前年比較)

区 分	単位	令和6年 (A)	令和5年 (B)	増 減 (A) - (B) = (C)	増 減 率(%) (C) ÷ (B) × 100
出 火 件 数	件	30	42	△ 12	△ 28.6
建 物		23	24	△ 1	△ 4.2
林 野			1	△ 1	皆減
車 両			4	△ 4	皆減
船 舶					—
そ の 他		7	13	△ 6	△ 46.2
焼 損 棟 数	棟	34	38	△ 4	△ 10.5
全 焼		9	15	△ 6	△ 40.0
半 焼		5	1		400.0
部 分 焼		9	11	△ 2	△ 18.2
ぼ や		11	11		0.0
建物焼損床面積	㎡	1,346	2,377	△ 1,031	△ 43.4
建物火災1件当たりの 焼損床面積		59	99	△ 40	△ 40.4
建物焼損表面積		277	205	72	35.1
林野焼損面積	a		0	△ 0	皆減
死 者	人	1		1	皆増
負 傷 者		2	6	△ 4	△ 66.7
り 災 世 帯 数	世帯	13	19	△ 6	△ 31.6
り 災 人 員	人	39	39		0.0
損 害 額	千円	34,693	56,972	△ 22,279	△ 39.1
建 物		33,421	52,746	△ 19,325	△ 36.6
林 野					—
車 両		1,223	983	240	24.4
船 舶					—
そ の 他		49	3,243	△ 3,194	△ 98.5
爆 発					—
火災1件当たりの 損 害 額		1,156	1,356	△ 200	△ 14.7
出 火 率		2.4	3.3	△ 0.9	—

(注) 1 表中の空白は0、△は負数を表す。以下ことわりのない限り同じ。

2 火災が2種以上にわたった場合、火災件数は原則として損害額の大きい方で計上し、損害額は火災による損害を受けたものの火災種別ごとに計上している。以下ことわりのない限り同じ。

3 「焼損面積」は、表示単位未満を四捨五入した数値を計上している。以下ことわりのない限り同じ。

4 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。以下ことわりのない限り同じ。

5 「損害額」の増減、増減率は、表示単位未満を四捨五入した数値により計算した。以下ことわりのない限り同じ。

6 「爆発」による損害額は、火災種別に関わらず、損害額中の爆発に計上している。以下ことわりのない限り同じ。

7 「出火率」とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。以下ことわりのない限り同じ。

8 人口は各年とも3月31日現在の住民基本台帳による。以下ことわりのない限り同じ。

2 市町及び地域別火災発生状況

区分 比較		件 数	火 災 種 別					焼 損 棟 数					焼 損 面 積		
			建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	建物焼損 床面積 (㎡)	建物焼損 表面積 (㎡)	林 野 (a)
鶴岡市	6年	28	21				7	6	3	8	10	27	993	249	
	5年	37	20	1	4		12	14	1	9	10	34	2,047	198	
鶴岡	6年	14	12				2	4	1	6	5	16	390	201	
	5年	21	14	1	1		5	13	1	6	8	28	2,037	122	
藤島	6年	3	2				1	1		2	1	4	289	48	
	5年	2	1				1			1		1		50	
羽黒	6年	1					1								
	5年	2	1				1			1		1		19	
櫛引	6年	7	6				1		2		4	6	26		
	5年	5	1		1		3	1				1	10		
朝日	6年	3	1				2	1				1	288		
	5年	4	1		2		1				1	1			
温海	6年														
	5年	3	2				1			1	1	2		7	
三川町	6年	2	2					3	2	1	1	7	353	28	
	5年	5	4				1	1		2	1	4	330	7	
合 計	6年	30	23				7	9	5	9	11	34	1,346	277	
	5年	42	24	1	4		13	15	1	11	11	38	2,377	205	

(前年比較)

り災世帯数				り 災 人 員	死傷者		損 害 額 (千円)						
全 損	半 損	小 損	計		死 者	負 傷 者	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	爆 発	計
5	1	4	10	28	1	2	25,019		1,193		49		26,261
7	1	8	16	33		5	45,469		983		3,243		49,695
3	1	3	7	14	1	2	6,629		1,193		48		7,870
7		8	15	30		5	43,894		700		3,239		47,833
							12,418						12,418
	1		1	3			1,226						1,226
							318				4		322
1		1	2	11			1,830						1,830
							6						6
1			1	3			4,142				1		4,143
							3		283				286
							22						22
1		2	3	11			8,402		30				8,432
1		2	3	6		1	7,277						7,277
6	1	6	13	39	1	2	33,421		1,223		49		34,693
8	1	10	19	39		6	52,746		983		3,243		56,972

3 月別火災発生状況

月別	区分	件数	火 災 種 別					焼 損 棟 数					焼 損 面 積		
			建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物焼損床面積(m ²)	建物焼損表面積(m ²)	林野(a)
1月	6年	3	3						1	2		3	35	1	
	5年	4	4					1		1	2	4	326	19	
2月	6年	2	1				1			1		1	19	4	
	5年	6	5		1			6		2	4	12	866	70	
3月	6年	3	3					2		4	2	8	490	136	
	5年	3	1				2	1				1	10		
4月	6年	8	2				6		2			2	87	106	
	5年	8	3	1			4	2		2	1	5	316	8	
5月	6年														
	5年	5	1		2		2			1		1	4		
6月	6年	3	3					2			2	4	59		
	5年														
7月	6年														
	5年	1	1					1		1		2	112	41	
8月	6年	1	1								1	1			
	5年	6	2				4	2	1		1	4	298	1	
9月	6年	3	3						1		2	3	4	1	
	5年	1	1								1	1			
10月	6年	1	1					3	1	1	1	6	349	28	
	5年	2	2								2	2			
11月	6年	1	1								1	1			
	5年	4	2		1		1			2		2		57	
12月	6年	5	5					2		1	2	5	303	1	
	5年	2	2					2		2		4	445	9	
合計	6年	30	23				7	9	5	9	11	34	1,346	277	
	5年	42	24	1	4		13	15	1	11	11	38	2,377	205	

(前年比較)

り災世帯数				り 災 人 員	死傷者		損 害 額 (千円)						
全 損	半 損	小 損	計		死 者	負 傷 者	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	爆 発	計
							675						675
1		1	2	2		1	7,120				3		7,123
							132						132
2		4	6	13		3	18,385		550				18,935
1	1	2	4	6	1		14,754						14,754
							6						6
2			2	3			3,464				1		3,465
1		1	2	5		1	5,335				3,239		8,574
		1	1	1		1	142		270				412
		1	1	5			459		1,193		48		1,700
1		1	2	2			5,157						5,157
		1	1	7			1						1
1		1	2	3			3,340						3,340
							1,475						1,475
1		2	3	11			8,056		30				8,086
							13						13
						2	1						1
	1		1	3			1,238		13		1		1,252
2			2	7			4,404						4,404
2		1	3	10			12,010		150				12,160
6	1	6	13	39	1	2	33,421		1,223		49		34,693
8	1	10	19	39		6	52,746		983		3,243		56,972

4 原因別出火件数

原因別 \ 種別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
たばこ						
たき火					3	3
火あそび						
こんろ	1					1
放火	1					1
風呂かまど						
ストーブ	2					2
放火の疑い						
マッチ・ライター						
煙突・煙道	2					2
電灯・電話等の配線	3				1	4
その他	8				2	10
不明・調査中	6				1	7
合計	23				7	30

5 時間帯別出火件数

時間帯別 \ 種別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
0時～2時	2					2
2時～4時	2					2
4時～6時	1					1
6時～8時	1					1
8時～10時	4				2	6
10時～12時	2				1	3
12時～14時	2				2	4
14時～16時						
16時～18時	6				1	7
18時～20時	1					1
20時～22時					1	1
22時～24時						
不明	2					2
合計	23				7	30

6 曜日別出火件数

曜日別 \ 種別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
日曜日	3				1	4
月曜日	3				2	5
火曜日	3				1	4
水曜日	6				1	7
木曜日	6				2	8
金曜日	1					1
土曜日	1					1
不明						
合計	23				7	30

7 初期消火器具等の使用状況

初期消火別 \ 種別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
消火器	5					5
水をかけた	4					4
水バケツ等						
寝具衣類等	1					1
消火設備	1					1
その他	2				3	5
合計	13				3	16

8 建物火災の用途別発生状況

用 途 区 分	令別表区分	件数	焼損棟数	焼損床面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
住 宅 (合 計)		14	22	969	1		20,134
一 般 住 宅	(5) 項ロ	14	22	969	1		20,134
併 用 住 宅							
共 同 住 宅							
防火対象物(住宅以外) (合 計)		5	5	10		2	409
飲 食 店	(3) 項ロ	1	1				19
学 校	(7) 項	1	1			2	1
工 場 等	(12) 項イ	1	1				105
事 務 所 等	(15) 項	2	2	10			284
そ の 他		4	7	367			12,878
合 計		23	34	1,346	1	2	33,421

(注) 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による。



9 住宅火災の出火箇所別発生状況

発生状況 出火箇所別	件数	件数割合 (%)	焼損棟数	焼 損 床面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
居 室	4	28.6	4	374			7,519
物 置	4	28.6	4	16			359
天 井 裏	1	7.1	1				1
そ の 他	4	28.6	9	378			10,029
不明・調査中	1	7.1	4	201	1		2,226
計	14	100.0	22	969	1		20,134

10 住宅火災の原因別発生状況

発生状況 原因別	件数	件数割合 (%)	焼損棟数	焼 損 床面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
た ば こ							
た き 火							
火 あ そ び							
こ ん ろ	1	7.1	1	25			517
放 火							
風 呂 か ま ど							
ス ト ー ブ	1	7.1	1	288			4,142
放 火 の 疑 い							
マッチ・ライター							
煙 突 ・ 煙 道							
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1	7.1	1				
そ の 他	6	42.9	6	4			1,682
不 明 ・ 調 査 中	5	35.7	13	652	1		13,793
合 計	14	100.0	22	969	1		20,134

11 住宅火災の曜日別発生状況

発生状況 曜日別	件数	焼損棟数	焼 損 床面積 (㎡)	損害額 (千円)
日 曜 日	1	1	1	97
月 曜 日	3	3	313	4,660
火 曜 日	2	7	349	8,060
水 曜 日	2	2	4	557
木 曜 日	4	7	216	3,393
金 曜 日	1	1		
土 曜 日	1	1	86	3,367
合 計	14	22	969	20,134

12 住宅火災における初期消火器具等の使用状況

発生状況 初期消火器具等	件数	焼 損 棟 数					焼 損 床面積 (㎡)	損害額 (千円)
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計		
初 期 消 火 あ り	7	2	2	1	2	7	329	5,028
消 火 器	2	1			1	2	288	4,146
水 を か け た	3	1	1	1		3	40	775
水 バ ケ ツ 等								
寝 具 衣 類 等	1				1	1		10
消 火 設 備								
そ の 他	1		1			1	1	97
初 期 消 火 な し	7	4	3	3	5	15	640	15,106
合 計	14	6	5	4	7	22	969	20,134

13 総出火件数等

(過去5年間)

区分 \ 年別	単位	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出火件数	件	36	42	34	42	30
死者	人	2	4	3		1
負傷者	人	5	4	9	6	2
建物焼損床面積	m ²	907	2,430	1,776	2,377	1,346
損害額	千円	37,379	49,089	61,380	56,972	34,693

14 住宅火災の推移

(過去5年間)

区分 \ 年別	単位	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出火件数	件	14	11	11	11	14
焼損棟数	棟	18	14	13	21	22
死者	人	2	3	3	0	1
負傷者	人	4	2	9	5	
建物焼損床面積	m ²	827	863	781	1,767	969
損害額	千円	34,335	17,696	17,751	39,600	20,134

警 防 編



大 雨 災 害

主な消防機器の現況

(R7. 4. 1 現在)

署 名		本	中	北	西	温	朝	羽	藤	櫛	三	合
区分及び品名		署	央	分	分	海	日	黒	島	引	川	計
一般救助用器具	梯子（単）	4	1		2	1		1	1			10
	梯子（2連）											
	梯子（3連）	7	2	1	2	1	1	1	1	1	1	18
	空気式救助マット	2										2
	マンホール救助器具	1										1
	救命索発射装置	1										1
	ファイバースコープ	1										1
重量物排除器具	油圧ジャッキ（2 t）	1	1	2	2	5	1		3	1	1	17
	油圧スプレッダー	1				1						2
	油圧カッター	2				1						3
	油圧コンピツール	1										1
	A C電源接続ケーブル	5										5
	可搬式ウインチ	4				1						5
	機械式ウインチ	1										1
	マット型空気ジャッキ	8										8
	破壊・切											
	壊・切断用器具											
破壊・切断用器具	削岩機	1										1
	電動ハンマードリル	2										2
	万能斧	8	4	2	4	2	1	2	3	3	1	30
	エンジンカッター	7	2	1	2	1	1	1	1	1	1	18
	チェーンソー	6	1		1		1	1		1	1	12
	エアークッター	1										1
	ガソリン・酸素溶断機	1										1
	呼吸保護器具											
	空気呼吸器	30	7	3	7	4	3	3	3	3	3	66
	空気ボンベ	171	18	8	16	9	8	8	8	7	7	260
隊員保護及び水難器具	循環式酸素呼吸器	5										5
	送排風機	1										1
	高圧ガスコンプレッサー	1										1
	耐電衣（7000V）	6										6
	耐電手袋（7000V）	9										9
	耐電長靴（7000V）	4										4
	耐熱服	4										4
	放射線防護服	2										2
	陽圧式化学防護服	5										5
	救命ボート	4										4
大規模災害	救命胴衣	24	10	2	6	6	4	3	4	4	4	67
	潜水用具	16										16
	水上バイク	1										1
	エアータント	3										3
	赤外線カメラ	3										3
	暗視スコープ	1										1
	画像探索機Ⅱ型	1										1
	地中音響探知機	1										1

消防車両等配備状況

(R7. 4. 1 現在)

所 属	車 名	車 種 名	購 入 年 月	排気量 (cc)	ポ ン プ	備 考
本 部	総 務 1 号 車	トヨタ クラウン	H 4. 6	2,490		
	総 務 2 号 車	トヨタ ノア	H19. 8	1,990		4WD
	予 防 1 号 車	トヨタ ノア	H19. 8	1,990		4WD
	予 防 2 号 車	スズキ エブリイ	R 2. 1	650		4WD
	予 防 3 号 車	ニッサンエクストレイル	H27.10	1,990		4WD
	警 防 1 号 車	ホンダ ステップワゴン	H19.11	1,990		4WD
本 署	水 槽 1 号 車	いすゞ	R 4. 3	5,190	シバウラ	2WD・5,000L水槽 B-2級消防小型動力ポンプ積載
	化 学 1 号 車	いすゞ	H26. 2	5,190	日本ドライ	II 型 4WD
	本署ポンプ1号車	日野	H27.11	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	本署ポンプ2号車	日野	H19.11	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	本署ポンプ3号車	日野	H19.11	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	は し ご 1 号 車	日野	H15.12	20,780		30m級・4WS
	救助工作1号車	日野	R 2. 2	5,120		II 型・4WD クレーン、ウインチ、照明付き
	積 載 1 号 車	三菱	H29. 2	7,540		格納リフト付・コンテナタイプ・4.7トン積載
	積 載 2 号 車	いすゞ	H31. 3	5,190		津波・大規模風水害対策車 ※1) 参照
	指 揮 1 号 車	トヨタ ハイエース	H30. 2	2,690		4WD
	指 揮 2 号 車	トヨタ ランドクルーザー	H12.11	4,660		4WD・水上バイク牽引システム付き・照明付き
	広 報 1 号 車	トヨタ ハイエース	H20. 2	2,690		4WD・バイク、水上バイク積載・牽引システム付き
	本署救急1号車	トヨタ	H27.12	2,690		高規格救急自動車・4WD
	本署救急2号車	トヨタ	H24.11	2,690		高規格救急自動車・4WD
	本署救急3号車	トヨタ	H21.10	2,690		高規格救急自動車・4WD
	消防バイク1号車	ヤマハ	H18. 6	225		オフロードバイク ロータリークラブより寄贈
	消防バイク2号車	ヤマハ	H18. 6	225		オフロードバイク ロータリークラブより寄贈
	消防バイク3号車	ヤマハ	H18. 7	225		オフロードバイク 鶴岡市消防協会より寄贈
	ボートトレーラー	ヤマハ	H19. 8	-		水上バイク牽引用

所 属	車 名	車 種 名	購 入 年 月	排気量 (cc)	ポンプ	備 考
中 央 分 署	中央タンク1号車	日野	H24. 2	6,400	モ リ タ	水Ⅱ・4WD
	中央ポンプ1号車	日野	R5.10	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD
	中央救急1号車	ニッサン	R5. 9	2,480		高規格救急自動車・4WD 荘内三菱電機商品販売株式会社より寄贈
北 分 署	北ポンプ1号車	日野	H31. 2	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD
	北救急1号車	ニッサン	H30. 3	3,490		高規格救急自動車・4WD
西 分 署	西タンク1号車	日野	H30. 1	5,120	モ リ タ	水Ⅱ・4WD・キャフス装置付き
	西ポンプ1号車	トヨタ	H28. 3	4,000	G M	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	西救急1号車	ニッサン	H26.12	3,490		高規格救急自動車・4WD
温 海 分 署	温海ポンプ1号車	日野	H24.12	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD・救助資機材積載 キャフス装置付き
	温海救急1号車	トヨタ	H31. 1	2,690		高規格救急自動車・4WD
朝 日 分 署	朝日ポンプ1号車	日野	R 4. 9	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD
	朝日救急1号車	トヨタ	R 3. 3	2,690		高規格救急自動車・4WD
羽 黒 分 署	羽黒ポンプ1号車	日野	H31. 3	4,000	日本ドライ	CD-I・4WD
	羽黒救急1号車	トヨタ	R 5. 3	2,690		高規格救急自動車・4WD
藤 島 分 署	藤島ポンプ1号車	日野	H29. 3	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD・キャフス装置付き
	藤島救急1号車	ニッサン	R7. 3	2,480		高規格救急自動車・4WD
櫛 引 分 署	櫛引ポンプ1号車	日野	R 3.12	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD
三 川 分 署	三川ポンプ1号車	日野	R 3. 3	4,000	モ リ タ	CD-I・4WD

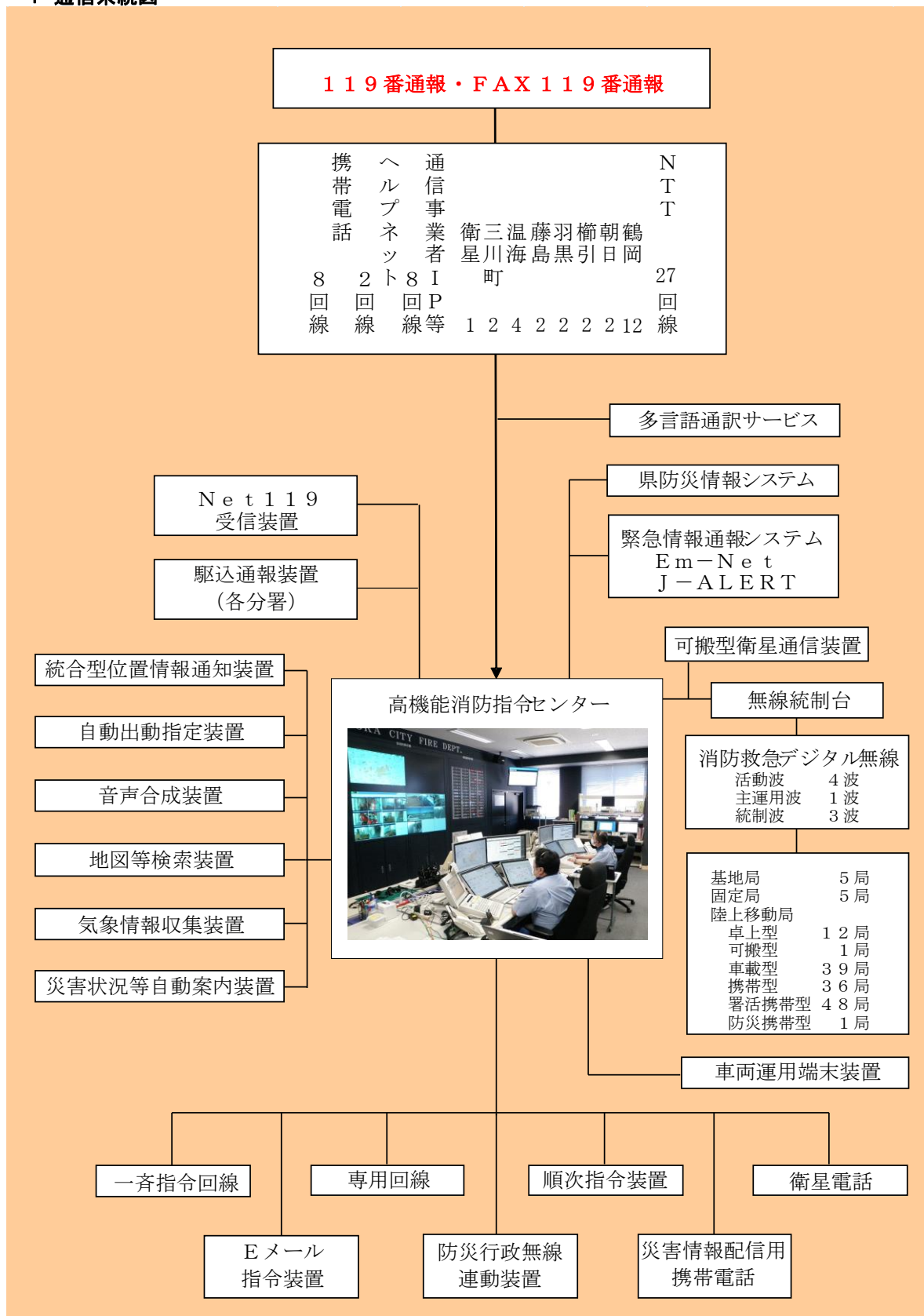
※1) 消防庁無償使用車両で水陸両用8輪バギー（748CC）を積載【4WD・格納リフト付き】

通信指令業務

1 通信系統図

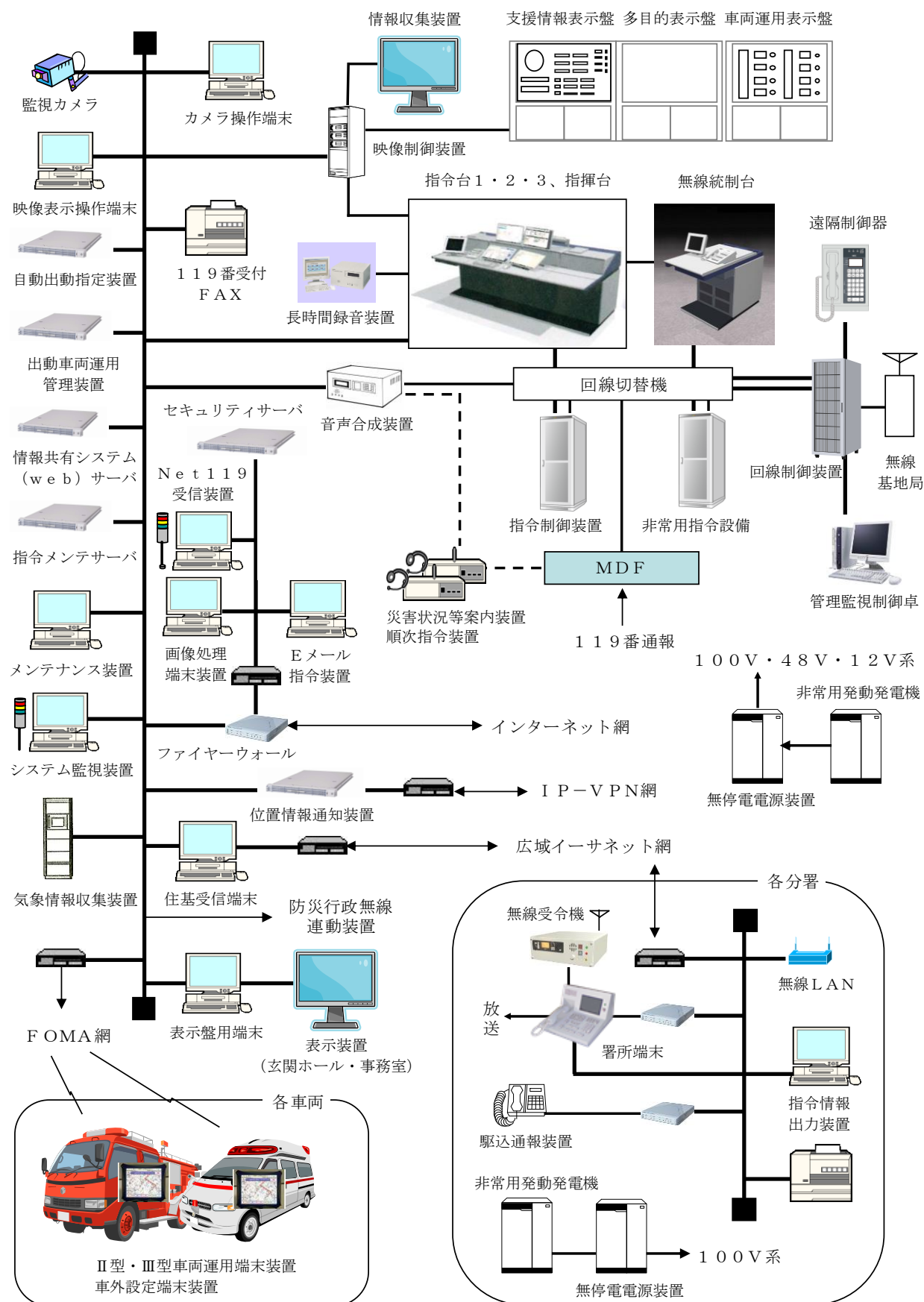
(R7. 4. 1 現在)

1 通信系統図



2 高機能消防指令センター システム図

(R7. 4. 1 現在)



119番受信状況

1 月別受信状況

種別 \ 月別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火 災	3	2	21	9		20	1	2	2	13	4	12	89
救 急 ・ 救 助	509	449	479	465	472	437	496	577	514	442	528	569	5,937
その他の災害	2	1	4		4			3	2	1	1	3	21
警 戒	8	6	6	7	8	2	71	11	12	7	9	7	154
通 報 訓 練	38	52	69	49	76	114	65	40	95	176	136	85	995
問 い 合 わ せ	20	10	19	12	8	8	7	12	11	12	12	7	138
間 違 い	31	30	30	38	31	31	29	47	35	21	29	36	388
悪 戯		1		1			1				1		4
そ の 他	45	16	14	18	23	14	22	18	15	15	18	28	246
他 消 防 転 送	2	2	8	12	6	12	11	5	9	7	4	3	81
合 計	658	569	650	611	628	638	703	715	695	694	742	750	8,053

(注) 1 携帯電話からの通報を含む。

2 表中の数値には、同一災害による第2報、第3報等の通報及び災害と通報されたが結果的に災害にならない通報も含む。次表において同じ。

2 曜日別受信状況

種別 \ 曜日別	日 曜 日	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	土 曜 日	合 計
火 災	19	7	19	18	20	3	3	89
救 急 ・ 救 助	837	953	824	826	865	870	762	5,937
その他の災害	3	3	2		4	3	6	21
警 戒	9	15	14	12	70	19	15	154
通 報 訓 練	33	143	194	200	189	177	59	995
問 い 合 わ せ	28	13	16	20	19	16	26	138
間 違 い	51	59	40	56	61	60	61	388
悪 戯	2				1		1	4
そ の 他	33	45	39	38	33	22	36	246
他 消 防 転 送	7	12	16	18	6	18	4	81
合 計	1,022	1,250	1,164	1,188	1,268	1,188	973	8,053

一般加入電話受信状況

1 月別受信状況

種別 \ 月別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火 災				1			1	1	1	2			6
救 急・救 助	9	8	8	11	7	7	6	12		5	7	9	89
その他の災害				1			1				1	1	4
警 戒	9	8	8	6	9	7	26	4	3	6	2	14	102
合 計	18	16	16	19	16	14	34	17	4	13	10	24	201

2 曜日別受信状況

種別 \ 曜日別	日 曜 日	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	土 曜 日	合 計
火 災	1	2	1	2				6
救 急・救 助	8	17	8	9	14	17	16	89
その他の災害		1				2	1	4
警 戒	12	12	15	13	23	14	13	102
合 計	21	32	24	24	37	33	30	201



消防水利の現況

(R7. 4. 1 現在)

市町別 水 利 別			鶴 岡 市							三川町	合計
				鶴 岡	藤 島	羽 黒	櫛 引	朝 日	温 海		
消 火 栓	公 設		3,958	2,202	307	371	286	324	468	238	4,196
	私 設		67	38	9	10	9		1	24	91
	小 計		4,025	2,240	316	381	295	324	469	262	4,287
防 水 槽	公 設	100m ³ 以上	16	10	2		3		1		16
		60～100m ³ 未満	44	32			2	4	6	1	45
		40～ 60m ³ 未満	869	352	118	67	71	130	131	87	956
		20～ 40m ³ 未満	193	26	97	16	33	13	8	12	205
		小 計	1,122	420	217	83	109	147	146	100	1,222
	私 設	100m ³ 以上	3	3							3
		60～100m ³ 未満	3	3						2	5
		40～ 60m ³ 未満	48	35	4	3	6			16	64
		20～ 40m ³ 未満	8	6	2					14	22
		小 計	62	47	6	3	6			32	94
	公 設 ・ 私 設 計	100m ³ 以上	19	13	2		3		1		19
		60～100m ³ 未満	47	35			2	4	6	3	50
		40～ 60m ³ 未満	917	387	122	70	77	130	131	103	1,020
		20～ 40m ³ 未満	201	32	99	16	33	13	8	26	227
		小 計	1,184	467	223	86	115	147	146	132	1,316
合 計			5,209	2,707	539	467	410	471	615	394	5,603

中高層建築物の現況

1 市町及び地域別状況

(R7. 4. 1現在)

階数別 市町別	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階以上	合 計
鶴 岡 市	112 (52)	30 (13)	21 (4)	5 (3)	7 (3)	2 (1)	15 (3)	192 (79)
鶴 岡	94 (46)	29 (13)	18 (3)	3 (2)	6 (3)	2 (1)	14 (2)	166 (70)
藤 島	1							1
羽 黒	1	1						2
櫛 引	3							3
朝 日	3							3
温 海	10 (6)		3 (1)	2 (1)	1		1 (1)	17 (9)
三 川 町	2							2
合 計	114 (52)	30 (13)	21 (4)	5 (3)	7 (3)	2 (1)	15 (3)	194 (79)

(注) () 内は、梯子車架でい不能又は障害があるもの。

2 用途別状況

(R7. 4. 1現在)

階数別 防火対象物の区分	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階以上	合 計
(1) イ 劇 場 等	1							1
ロ 公 会 堂 等								
(2) イ キ ャ バ レ ー 等								
ロ 遊 技 場 等								
ハ 風 俗 店 舗 等								
ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等								
(3) イ 料 理 店 等								
ロ 飲 食 店	2(1)	1(1)						3(1)
(4) 百 貨 店 等	3							3
(5) イ 旅 館 等	5(2)	2	6(2)	4	4(2)	1	8(1)	30(5)
ロ 共 同 住 宅 等	63	12	3	1	1	1	5	86
(6) イ 病 院 等	3	2	1				1	7(1)
ロ 社 会 福 祉 施 設 等	7(2)		1					8(1)
ハ 幼 稚 園 等								
(7) 学 校	15(2)	3	1					19(1)
(8) 図 書 館 等								
(9) イ 特 殊 浴 場								
ロ 一 般 浴 場								
(10) 停 車 場 等								
(11) 神 社 ・ 寺 院 等								
(12) イ 工 場 等	3	1	2					6
ロ ス タ ジ オ								
(13) イ 駐 車 場 等		1	1					2
ロ 航 空 機 格 納 庫								
(14) 倉 庫								
(15) 事 務 所 等	8	5	2		1			16
(16) イ 特定複合用途防火対象物	5	2(1)	4(1)		1		1	13(2)
ロ 一般複合用途防火対象物								
合 計	115(4)	29(3)	21(2)	5	7(2)	2	15(1)	194(11)

救急統計

1 救急活動状況

区 分 事故種別	出 動 件 数 (件)	搬 送 件 数 (件)	搬 送 人 員			傷 病 程 度					覚 知 種 別			
			男	女	計 (人)	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	※2 そ の 他	一 一 九	加 入 電 話	駆 付	※3 そ の 他
火 災 事 故	1										1			
自然災害事故														
水 難 事 故	3	1	1		1				1		1	1		1
交 通 事 故	274	191	112	91	203	147	47	9			209	15	1	49
労働災害事故	51	49	41	8	49	24	23	2			51			
運動競技事故	20	16	10	6	16	11	5				20			
一 般 負 傷	902	776	315	462	777	389	309	68	11		878	4	5	15
加 害 事 故	8	4	2	2	4	3	1				6			2
自 損 事 故	41	21	11	10	21	5	7	5	4		35			6
急 病	4,377	3,829	1,922	1,908	3,830	1,687	1,881	185	77		4,277	36	15	49
そ の 他	転院搬送	520	518	270	248	518	27	441	49	1	440	7		73
	医師搬送													
	資器材搬送													
	※1 そ の 他	89									76	7	1	5
合 計	6,286	5,405	2,684	2,735	5,419	2,293	2,714	318	94		5,994	70	22	200
構成比 (%)	—	—	49.5	50.5	100	42.3	50.1	5.9	1.7		95.4	1.1	0.3	3.2
備 考	※1 「その他」：正常分娩及び事故原因が断定できないもの等をいう。 ※2 「その他」：医師の診断がないもの等をいう。 ※3 「その他」：警察専用回線及び病院専用回線等をいう。 ※4 「その他」：救急要請により出動したが他車で搬送された場合等をいう。													

(注) 計の値が四捨五入により各値の計と一致しない場合がある。以下本統計において、ことわりのな

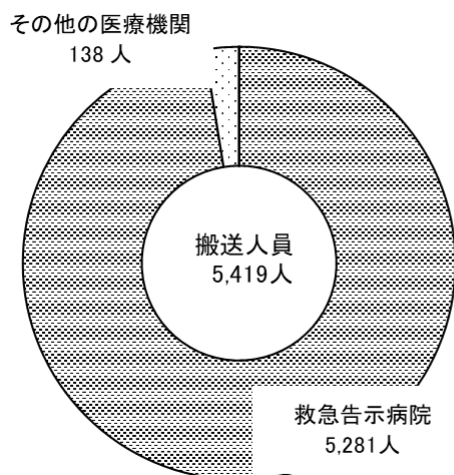
不 搬 送 の 内 訳									市 町 別 出 動 件 数								
辞 退 （ 到 着 前 ）	辞 退 （ 到 着 後 ）	拒 否	明 ら か な 死 亡	他 車 （ 隊 ） 搬 送	傷 病 者 な し	誤 い た ず 報 ら	※ 4 そ の 他	計 (件)	鶴 岡 市	鶴 岡	藤 島	羽 黒	櫛 引	朝 日	温 海	三 川 町	そ の 他
			1					1	1	1							
	1		1					2	3	1					2		
									1						1		
1	35	5		4	21		17	83	249	178	9	13	11	22	16	25	
									185	134	8	7	8	15	13	18	
	2							2	48	34	2	3	3	4	2	3	
									46	32	2	3	3	4	2	3	
	4							4	20	14	1	3	2				
									16	12	1	1	2				
1	65	9	6	1	3		41	126	848	607	53	48	36	32	72	53	1
									728	511	48	42	35	29	63	48	1
1	1			1			1	4	8	6		1			1		
									4	3		1					
			18				2	20	40	31	1	2	3	2	1	1	
									21	16	1	2	1		1		
8	230	37	107	5	7	1	153	548	4,134	2,978	298	245	189	125	299	243	
									3,606	2,573	268	218	164	119	264	224	
							2	2	501	400	16	4	60		21	19	
									500	400	16	4	59		21	18	
1	2	1	1		44	32	8	89	87	57	5	6	9	7	3	2	
12	340	52	134	11	75	33	224	881	5,939	4,307	385	325	313	192	417	346	1
									5,107	3,681	344	278	272	167	365	311	1
1.4	38.6	5.9	15.2	1.2	8.5	3.7	25.4	100	94.5	68.5	6.1	5.2	5.0	3.1	6.6	5.5	—
									94.2	67.9	6.3	5.1	5.0	3.1	6.7	5.7	—
									上 段 ： 出 動 件 数 （ 件 ）								
									下 段 ： 搬 送 人 員 （ 人 ）								

い限り同じ。

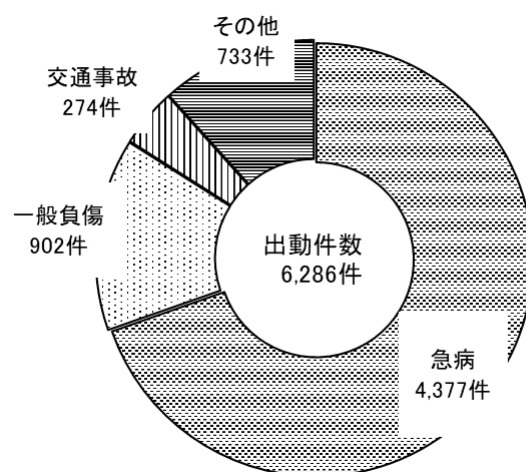
2 月別事故種別出動件数と搬送人員

種別 月別	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 事 故	急 病	そ の 他	合 計
1 月				17	5	1	68	2	3	384	52	532
				10	4	1	62	2		339	44	462
2 月				11	2	1	71	1	6	333	46	471
				8	1	1	58		2	292	42	404
3 月	1		1	22	3	4	74		3	354	42	504
				15	3	3	57		1	312	35	426
4 月				19	4	1	76	2	2	343	51	498
				17	4	1	67	1	1	284	44	419
5 月			1	24	5	3	67		3	350	51	504
				17	5	3	58			299	48	430
6 月				23	3		68		2	309	48	453
				20	3		57		1	272	41	394
7 月				19	5	3	70	1	3	373	46	520
				18	5	3	60	1	3	340	39	469
8 月			1	18	8		72	1	6	465	53	624
			1	10	8		62		2	422	40	545
9 月				25	6	1	73		4	381	53	543
				19	6	1	65		4	334	40	469
10 月				28	3	1	81		4	294	54	465
				19	3	1	75		4	256	50	408
11 月				22	2	5	92		4	385	50	560
				16	2	2	82		3	329	45	479
12 月				46	5		90	1	1	406	63	612
				34	5		74			351	50	514
合 計	1		3	274	51	20	902	8	41	4,377	609	6,286
			1	203	49	16	777	4	21	3,830	518	5,419
備 考	上段 : 出動件数 (件) 下段 : 搬送人員 (人)											

3 医療機関別搬送人員の状況



4 事故種別出動状況



5 年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況

年齢区分 傷病程度	新生児 (生後28日以内)		乳幼児 (生後29日以上 満7歳未満)		少 年 (満7歳以上 満18歳未満)		成 人 (満18歳以上 満65歳未満)		高齢者 (満65歳以上)		計 (人)	
		(%)		(%)		(%)		(%)		(%)		(%)
死 亡		-		-		-	13	1.3	81	2.0	94	1.7
重 症		-	2	1.6	1	0.7	49	4.8	266	6.4	318	5.9
中 等 症	4	100.0	84	68.9	49	34.0	381	37.7	2,196	53.1	2,714	50.1
軽 症		-	36	29.5	94	65.3	568	56.2	1,595	38.5	2,293	42.3
そ の 他		-		-		-		-		-		-
合 計	4	100	122	100	144	100	1,011	100	4,138	100	5,419	100
構成比 (%)		0.0		2.3		2.7		18.7		76.4		100

(注) 傷病程度 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。
中等症とは、傷病程度が重症又は軽症以外のものをいう。
軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

6 曜日別時間帯別搬送人員状況

別 曜日別	時間帯												合計
	0時 ～ 2時	2時 ～ 4時	4時 ～ 6時	6時 ～ 8時	8時 ～ 10時	10時 ～ 12時	12時 ～ 14時	14時 ～ 16時	16時 ～ 18時	18時 ～ 20時	20時 ～ 22時	22時 ～ 24時	
日 曜 日	47	24	39	57	107	108	100	87	97	93	62	55	876
	37	14	30	51	91	98	83	74	84	75	52	37	726
月 曜 日	40	28	40	98	129	145	117	96	109	88	69	53	1,012
	34	24	34	82	118	127	101	89	95	77	61	40	882
火 曜 日	31	26	21	62	121	135	93	87	98	93	58	37	862
	27	21	19	54	113	121	82	82	81	80	46	28	754
水 曜 日	27	27	36	61	103	131	119	84	105	84	60	35	872
	21	22	28	52	95	116	110	78	92	71	50	28	763
木 曜 日	32	24	34	86	117	149	107	90	95	75	70	43	922
	26	22	28	80	100	133	91	86	82	60	57	37	802
金 曜 日	28	26	35	59	115	129	120	96	91	86	80	59	924
	24	23	29	48	104	113	109	81	85	70	64	43	793
土 曜 日	22	18	33	56	100	114	85	110	79	84	58	59	818
	19	15	29	46	90	94	74	97	73	71	43	48	699
合 計	227	173	238	479	792	911	741	650	674	603	457	341	6,286
	188	141	197	413	711	802	650	587	592	504	373	261	5,419
備 考	上段 出動件数 (件)												
	下段 搬送人員 (人)												

7 現場到着所要時間状況(入電～現場到着まで)

時間 署別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合 計 (件)	平 均 (分)
本署救急隊	2	47	737	463	62	1,311	10.0
中央救急隊	1	97	1,326	273	11	1,708	7.5
北 救 急 隊	2	39	795	413	3	1,252	8.5
西 救 急 隊	2	10	254	215	14	495	9.8
温海救急隊	2	8	155	183	58	406	12.2
朝日救急隊	2	20	146	134	21	323	10.5
藤島救急隊		38	221	158	2	419	8.7
羽黒救急隊	3	17	168	169	15	372	10.4
合 計	14	276	3,802	2,008	186	6,286	9.1
構成比 (%)	0.2	4.4	60.5	31.9	3.0	100	—

8 収容所要時間状況(入電～医療機関まで)

時間 署別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	合 計 (人)	平 均 (分)
本署救急隊		11	294	720	110	5	1,140	40.2
中央救急隊		40	523	823	70	1	1,457	34.9
北 救 急 隊		13	298	677	57		1,045	37.0
西 救 急 隊			6	396	34		436	44.5
温海救急隊			2	178	173	1	354	61.3
朝日救急隊			8	229	49	3	289	48.9
藤島救急隊			21	342	15		378	41.1
羽黒救急隊			19	265	33	3	320	47.3
合 計		64	1,171	3,630	541	13	5,419	40.8
構成比 (%)	—	1.2	21.6	67.0	10.0	0.2	100	—

9 住所別搬送人員状況

種別 区分	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 事 故	急 病	そ の 他	合 計 (人)
管内住所者			1	170	42	10	730	4	19	3,694	496	5,166
管外住所者				32	7	6	46		2	131	22	246
そ の 他				1			1			5		7
合 計			1	203	49	16	777	4	21	3,830	518	5,419

(注) 「その他」とは、外国人旅行者(外国人のうち日本に住所を有している者を除く外国人)、または住所が判明しない者等をいう。

10 救急隊員の行った応急処置の状況

事故種別 処置項目		急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	合 計
止 血		17	12	93	14	136
固 定		16	51	87	28	182
人 工 呼 吸		22	2	2	2	28
胸 骨 圧 迫						
	う ち 自 動					
心 肺 蘇 生 法		107	2	13	10	132
	う ち 自 動	23		3		26
酸 素 吸 入		938	16	37	197	1,188
気 道 確 保		172	2	19	15	208
	※ 1	1				1
	※ 2	3		4		7
	※ 3	58	1	7	2	68
	※ 4	2		2		4
保 温		400	11	69	44	524
被 覆		21	27	121	11	180
在 宅 療 法 継 続		24			6	30
	※ 5	2			4	6
	※ 6	4			2	6
	※ 7	18				18
シ ョ ッ ク パ ン ツ						
除 細 動		9	1			10
静 脈 路 確 保		151	3	19	9	182
	C P A 前	79	2	8	4	93
	C P A 後	72	1	11	5	89
薬 剤 投 与		55	1	9	6	71
血 糖 測 定		495	3	18	11	527
ブ ド ウ 糖 投 与		29				29
エ ピ ペ ン						
そ の 他		153	6	27	25	211
血 圧 測 定		3,657	197	757	584	5,195
聴 診 器		1,272	73	117	154	1,616
血 中 酸 素		3,726	199	763	592	5,280
心 電 図		2,782	73	243	340	3,438
合 計		14,046	679	2,394	2,048	19,167
備 考		気 道 確 保 (いずれも内数) ※ 1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保 ※ 2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去 ※ 3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用した気道確保 ※ 4 救急救命士が行った気管挿管処置 在 宅 療 法 継 続 (いずれも内数) ※ 5 在宅中心静脈栄養管理等による点滴 ※ 6 気管切開・人工肛門等 ※ 7 5・6以外の応急処置				

11 過去5ヶ年の事故種別出動・搬送人員の状況

種別 年別		火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 事 故	急 病	そ の 他	合 計
令和2年	出動件数(件)	4		7	252	44	14	725	5	46	3,666	529	5,292
	構成比 (%)	0.1	—	0.1	4.8	0.8	0.3	13.7	0.1	0.9	69.3	10.0	100
	搬送人員(人)	6		2	226	41	14	686	5	26	3,402	476	4,884
令和3年	出動件数(件)	5		7	240	62	12	818	8	37	3,960	510	5,659
	構成比 (%)	0.1	—	0.1	4.2	1.1	0.2	14.5	0.1	0.7	70.0	9.0	100
	搬送人員(人)	1		1	214	60	12	760	5	22	3,584	444	5,103
令和4年	出動件数(件)	10	3	4	227	62	18	864	7	41	4,288	500	6,024
	構成比 (%)	0.2	0.0	0.1	3.8	1.0	0.3	14.3	0.1	0.7	71.2	8.3	100
	搬送人員(人)	8	2	0	184	62	16	771	3	20	3,840	461	5,367
令和5年	出動件数(件)	7		8	230	69	27	888	8	53	4,545	569	6,404
	構成比 (%)	0.1	—	0.1	3.6	1.1	0.4	13.9	0.1	0.8	71.0	8.9	100
	搬送人員(人)	6		3	208	63	27	806	5	35	4,063	508	5,724
令和6年	出動件数(件)	1		3	274	51	20	902	8	41	4,377	609	6,286
	構成比 (%)	0.0	—	0.0	4.4	0.8	0.3	14.3	0.1	0.7	69.6	9.7	100.0
	搬送人員(人)	0		1	203	49	16	777	4	21	3,830	518	5,419

12 職員が行った応急手当普及啓発活動の状況

月別	種別	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	普通救命講習Ⅲ	上級救命講習	応急手当普及員	普及員再講習	応急手当指導員	指導員再講習	入門コース	自治会	P学校・保育園等 T A等	事業所	婦人会	各種団体	その他	合計
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	合計
1 月	回数	2		1								3	6	1			13
	人数	30		4								62	125	15			236
2 月	回数	3										2	2		2		9
	人数	45										106	50		46		247
3 月	回数												5				5
	人数												63				63
4 月	回数	1								1		1	2				5
	人数	29								10		34	89				162
5 月	回数	2									1	6	4				13
	人数	36									20	273	75				404
6 月	回数	1		1							2	15	10				29
	人数	12		15							87	356	162				632
7 月	回数				1						6	9	5				21
	人数				8						102	188	104				402
8 月	回数	3										4	3		1		11
	人数	36										79	33		24		172
9 月	回数	2		1						1	8	3	8				23
	人数	37		10						14	325	88	230				704
10 月	回数	5		1		1					16	1	12		1		37
	人数	61		6		25					608	6	260		16		982
11 月	回数	5					3				8	4	13		3		36
	人数	95					38				200	309	374		68		1,084
12 月	回数	1		1							1	2	4				9
	人数	21		9							50	36	42				158
合計	回数	25		5	1	1	3			2	42	50	74	1	7		211
	人数	402		44	8	25	38			24	1,392	1,537	1,607	15	154		5,246

救助統計

1 市町別救助件数・救助人員

事故種別 市町別		火 災 事 故	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
鶴岡市	出動件数	2	23	3	1		4	1		11	45
	救助人員	2	10	3	47		4			10	76
	鶴岡	出動件数	2	13	1		2	1		2	21
		救助人員	2	8	1		2			2	15
	藤島	出動件数		2	1		1				4
		救助人員			47		1				48
	羽黒	出動件数		2						2	4
		救助人員		1						1	2
	櫛引	出動件数		1							1
		救助人員									
	朝日	出動件数		2			1			4	7
		救助人員					1			4	5
	温海	出動件数		3	2					3	8
		救助人員		1	2					3	6
	三川町	出動件数		5							5
		救助人員		3							3
その他の地域	出動件数									3	3
	救助人員									3	3
合 計	出動件数	2	28	3	1		4	1		14	53
	救助人員	2	13	3	47		4			13	82

2 出動隊別事故種別出動状況及び救助人員

事故種別 区分		火 災 事 故	交 通 事 故	水 難 事 故	自然 災害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
出 動 件 数		2	28	3	1		4	1		14	53
出 動 隊	兼任救助隊	2	28	3	1		4	1		13	52
	警 防 隊	11	46	9	7		6	1		22	102
	救 急 隊	3	38	3	1		4	2		13	64
	計	16	112	15	9		14	4		48	218
活 動 隊	兼任救助隊	2	5	2	1		3			7	20
	警 防 隊		4		3					7	14
	救 急 隊	1	13	2	1		1			8	26
	計	3	22	4	5		4			22	60
救 助 人 員	兼任救助隊	2	6	2	42		2			5	59
	警 防 隊		3							3	6
	救 急 隊		3								3
	消防隊以外		1	1	5		2			5	14
	計	2	13	3	47		4			13	82

3 発生場所別事故種別救助人員

事故種別 区分		火 災 事 故	交 通 事 故	水 難 事 故	自然 災害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
出 動 件 数		2	28	3	1		4	1		14	53
屋 内	住 居	1					1				2
	その他の屋内	1					3				4
屋 外	道 路										
	国 道										
	その他の道路		12								12
	水 面			1	47					1	49
	内 水 面										
	外 水 面			2							2
山 岳	山 岳									9	9
	その他の屋外		1							3	4
地 下											
そ の 他											
合 計		2	13	3	47		4			13	82

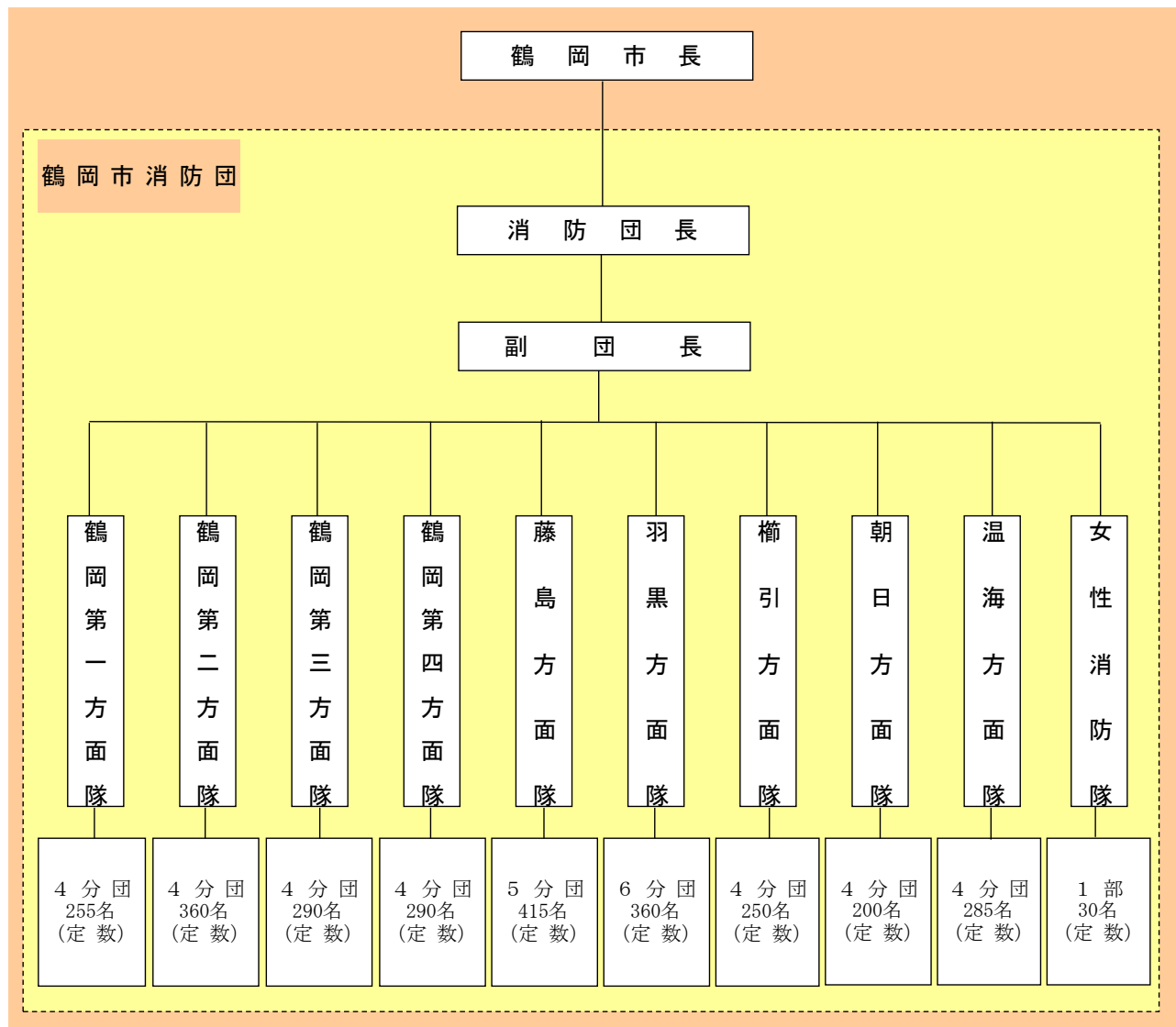
消防団編



消防団活動体験

消防団の構成

(R7. 4. 1 現在)



消防団長・副団長名

(R7. 4. 1 現在)

団 長 名	就 任	副 団 長 名	就 任	副 団 長 名	就 任
照 井 和	R 3. 4. 1	渡 部 昌 樹	R 3. 4. 1	高 橋 清	R 3. 4. 1
		佐 藤 勝	R 7. 4. 1	小 野 寺 寛	R 7. 4. 1
		疋 田 洋 昭	R 7. 4. 1		

階級別消防団員数

(R7. 4. 1 現在)

年数別 方面隊等別	定 数	現 在 数	団 長	副 団 長		分 団 長		副分団長	部 長	班 長	団 員
				方 面 隊 長	副 方 面 隊 長	方 面 隊 長	副 方 面 隊 長				
鶴 岡 市	2,750	2,625	1	5	9	9	39	75	113	273	2,101
鶴 岡	1,210	1,160			4	4	16	31	53	118	934
藤 島	415	405			1	1	5	10	16	51	321
羽 黒	360	344			1	1	6	10	10	40	276
櫛 引	250	248			1	1	4	8	12	22	200
朝 日	200	192			1	1	4	8	9	17	152
温 海	285	258			1	1	4	8	12	24	208
女 性 消 防 隊	30	12							1	1	10

在職年数別消防団員数

(R7. 4. 1 現在)

年数別 方面隊等別	年 数 別							合 計
	5 年 未 満	5 年 以 上 10 年 未 満	10 年 以 上 15 年 未 満	15 年 以 上 20 年 未 満	20 年 以 上 25 年 未 満	25 年 以 上 30 年 未 満	30 年 以 上	
鶴 岡 市	389	534	568	511	326	187	110	2,625
鶴 岡	177	234	253	207	150	89	56	1,166
藤 島	61	89	81	95	45	26	8	405
羽 黒	44	67	94	67	39	21	12	344
櫛 引	36	60	55	54	27	11	5	248
朝 日	18	39	41	32	26	17	19	192
温 海	48	43	44	55	37	21	10	258
女 性 消 防 隊	5	2		1	2	2		12

年齢別消防団員数

(R7. 4. 1 現在)

年 齢 別 方面隊等別	人 員 合 計	平 均 年 齢 (才)	18 才	25 才	30 才	35 才	40 才	45 才	50 才	55 才	60 才 以 上
			ゝ 24 才	ゝ 29 才	ゝ 34 才	ゝ 39 才	ゝ 44 才	ゝ 49 才	ゝ 54 才	ゝ 59 才	
鶴 岡 市	2,625	40.2	83	231	360	530	538	431	200	123	112
		40.1	0	2	1	3	4	5	2	0	0
	鶴 岡	41.2	26	91	152	210	241	210	99	71	66
	藤 島	38.4	16	38	57	86	103	72	24	5	4
	羽 黒	39.4	8	23	57	90	81	44	20	9	12
	櫛 引	38.6	11	24	38	71	34	30	17	9	9
		35.5		1	1	1		2			
	朝 日	41.4	5	18	27	29	35	33	19	15	11
	温 海	39.4	17	37	29	44	44	42	21	14	10
	女 性 消 防 隊										
		41.8		1		2	4	3	2		

(注) 上段：男性団員、下段：女性団員

消防団機械等現勢

(R7. 4. 1 現在)

項 目 方面隊別	水 槽 付 消 防 ポンプ 自 動 車	普 通 消 防 ポンプ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 普 通 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 軽 搬 送 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 台	合 計
鶴 岡 市		35	27	110	7	113	292
	鶴 岡	20	5	44	3	49	121
	藤 島	4	3	12	1	30	50
	羽 黒	4		12	3	23	42
	櫛 引	2	7	14		7	30
	朝 日	1		18		2	21
	温 海	4	12	10		2	28

階級別消防団員報酬

(R7. 4. 1 現在)

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
報 酬 額	140,000円	90,000円	70,000円	55,000円	42,000円	39,000円	36,500円

出動手当額

(R7. 4. 1 現在)

項 目	水 ・ 火 災	警 戒	訓 練	そ の 他
1 回 当 た り の 出 動 手 当 額	2時間未満 2,000円 2時間以上4時間未満 4,000円 4時間以上 8,000円	2時間未満 2,000円 2時間以上4時間未満 4,000円 4時間以上 8,000円	2,000円	2,000円



常 備 消 防 と の 合 同 訓 練

消防救助技術大会 出場記録



消防救助技術大会

1 全国大会

大会回数	実施年月日	出場種目
2	昭和48年9月21日	救命索発射銃
3	昭和49年9月10日	高所人命救助 50m自由形水中検索 200mメドレー
4	昭和50年9月10日	高所人命救助 ロープ登はん
6	昭和52年8月18日	ロープ応用登はん
7	昭和53年8月22日	ロープ応用登はん
8	昭和54年8月24日	引揚救助
22	平成5年8月20日	ロープ登はん
26	平成9年8月22日	ロープ登はん
27	平成10年8月27日	ロープブリッジ渡過
29	平成12年8月18日	ロープ登はん
31	平成14年8月23日	はしご登はん ロープブリッジ救出
32	平成15年8月28日	基本泳法 溺者救助 水中検索救助 人命救助
33	平成16年8月26日	人命救助
35	平成18年8月24日	溺者救助
37	平成20年8月29日	基本泳法 溺者救助
39	平成22年8月27日	基本泳法 人命救助
41	平成24年8月7日	はしご登はん ロープ応用登はん 障害突破
46	平成29年8月23日	ロープブリッジ渡過
48	令和元年8月25日	ロープブリッジ渡過
50	令和4年8月26日	基本泳法
51	令和5年8月25日	基本泳法 溺者搬送
52	令和6年8月23日	基本泳法 溺者救助 溺者搬送

2 東北地区支部指導会

大会回数	実施年月日	出場種目
1	昭和47年8月30日	はしご登はん
2	昭和48年7月5日	救命索発射銃
3	昭和49年7月30日	高所人命救助 50m自由形水中検索 200mメドレー 100m自由形
4	昭和50年7月30日	高所人命救助 ロープ登はん
6	昭和52年7月27日	ロープ応用登はん
7	昭和53年7月28日	ロープ応用登はん
8	昭和54年7月27日	引揚救助
9	昭和55年7月25日	ロープ応用登はん ほふく救出
10	昭和56年7月24日	ロープ応用登はん ほふく救出
11	昭和57年7月23日	高所人命救助 引揚救助
12	昭和58年7月28日	高所人命救助
13	昭和59年7月26日	引揚救助
14	昭和60年7月24日	引揚救助
15	昭和61年7月23日	引揚救助
16	昭和62年7月23日	ロープ登はん ほふく救出
19	平成2年7月19日	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ渡過
20	平成3年7月24日	ほふく救出 引揚救助
21	平成4年7月16日	ロープ登はん
22	平成5年7月22日	ロープ登はん
23	平成6年7月21日	ロープ登はん 斜めブリッジ救助
24	平成7年7月20日	ロープ登はん 斜めブリッジ救助 ロープブリッジ渡過
25	平成8年7月25日	ロープブリッジ渡過 ロープ登はん はしご登はん ロープ登はん ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ救出 斜めブリッジ救助 ロープブリッジ救出
26	平成9年7月17日	ロープ登はん はしご登はん ロープ登はん ロープブリッジ渡過 ロープ応用登はん
27	平成10年7月23日	ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ救出
28	平成11年7月15日	ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ渡過 斜めブリッジ救助 ロープブリッジ救出
29	平成12年7月13日	ロープ登はん ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出
30	平成13年7月12日	ロープ登はん ロープ応用登はん
31	平成14年7月18日	はしご登はん ロープ登はん(2名) ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出 斜めブリッジ救助

大会回数	実施年月日	出場種目
32	平成15年8月5日	ロープブリッジ渡過 斜めブリッジ救助 基本泳法 溺者救助 水中検索救助 人命救助
33	平成16年7月7日	基本泳法 溺者救助
34	平成17年7月20日	溺者救助 水中検索救助
35	平成18年7月14日 平成18年7月20日	溺者救助 人命救助 障害突破
37	平成20年7月18日	基本泳法 溺者救助
39	平成22年7月15日	基本泳法 人命救助
41	平成24年7月19日	引揚救助 障害突破 ロープブリッジ救出
42	平成25年7月25日	引揚救助 障害突破
44	平成27年7月30日	引揚救助 障害突破
45	平成28年7月29日	障害突破
46	平成29年7月19日	引揚救助 障害突破
47	平成30年7月25日	引揚救助 障害突破
48	令和元年7月24日	引揚救助 障害突破
50	令和4年7月20日	障害突破 ロープブリッジ救出 基本泳法 障害突破 引揚救助 ロープブリッジ救出
51	令和5年7月26日	基本泳法 溺者搬送 人命救助 溺者救助
52	令和6年7月17日	基本泳法 溺者搬送 人命救助 溺者救助



鶴岡市消防本部庁舎

鶴岡市消防本部【公式】Instagram



■アカウント

fdtsuruoka_official

■アドレス

https://instagram.com/fdtsuruoka_official/



鶴岡市消防本部ホームページ

<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/anzen/shobo/index.html>